

清陵同窓会報

自反而縮雖千萬人吾往矣

第 26 号 発行：諏訪清陵高校同窓会 〒392-8548 諏訪市清水 1-10-1 編集：会報編集委員会、第67回生（昭和36年入学）

「清陵深志交歓会」と清陵生を育んだもの

むしろ旗を押し立てて上諏訪駅に迎えに出る。翌年は夜を徹して塩尻峠を越えて松本に向かう。しかもそこには先生達の影は一つもなく、全てが学友会の手によって行われている。一日を運動と討論に過ごした「清陵深志交歓会」（昭31～44）は、手取り足取り指導されてきた中学時代に較べて「大人」への自覚を強烈

に印象づける、自治そのものであった。

60年安保問題での挫折感からか、今年当番の67回生達の在学当時は、学友会への無関心層が増えていく時代であったが、その沈滞のムードの中で、清陵の伝統を色濃く伝えたのがこの行事であった。

もう一つの清陵の伝統、それは素晴らしい師との出会いだった。清水ヶ丘の名

物教師と言われる多くの先生方から6人の方への思い出を特集の第一に組んだ。

多感な清陵生にとって二葉高校を落とす訳にはいかない。卒業後何年経っても、二葉と聞けば何かホロズッパイものが蘇ってくる。その校舎が今年中に取り壊されるという。他校のことではあるが、愛惜の情を込めて第二の特集とした。



平成12年度 定期総会案内

1. 日 時 平成12年7月1日(土) 午後1時30分より
1. 会 場 ジョイントプラザマリオ（岡谷市長地）
（従来は日曜日、諏訪シティホテル成田屋であったものを今年度は変更しました。ご注意ください）

送迎バスあり 上諏訪駅 12:20出発
岡谷駅 12:30出発

1. 議 事

- (1) 平成11年度 会務・決算・特別会計報告
- (2) 平成12年度 事業計画・収支予算審議

1. 記念講演 午後2時30分より
講師 信州豊南短期大学教授
フォークシンガー
三浦 久 (67回生)
演題 メッセージ「今、伝えておきたいこと」

1. 懇親会 午後4時30分より
於 ジョイントプラザマリオ
会 費 5,000円

（前売りチケットは当番学年幹事・同窓会事務局・支部事務局・学年幹事にて取扱い中。当日受付けにても可）

—— 諏訪清陵高等学校同窓会 会長 宮坂久臣（当番幹事67回生、次年度当番幹事68回生、サブ幹事77回生・87回生）

特集 かつての名物教師

ここ数年来、さまざまな形で青少年のあり方が社会問題として取り上げられ、教育のあるべき姿もきつく問われる風潮にある。このことはひとえに学校教育に責任の所在を求めるものではなく、それよりも家庭や地域社会の教育力を高めなくてはならないことは、広く言われているとおりである。しかしながら、我々が過ごした清水ヶ丘の生活を顧みるに、そこには人として生きていくうえで重大な影響力をもって接して下さった人生の師となるべき恩師の存在があったことを、誰もが共通の誇りとしているところではないだろうか。

諏訪中学・清陵高校では開校以来105年の歴史のなかで、

延べ700人を超える先生方が教鞭をとられている。20,000名を超える卒業生一人ひとりの思い出の師の姿は、みんなそれぞれに違っていよう。しかしながら、「質実剛健・勤勉・自治」の校風下、真理探究の一徹な心を養いたいとするお姿は、どの先生方も同じであったはずである。

今回、ほんの一握りの方々ではあるが、編集担当学年在学中にお世話になった6人の先生方の思い出を辿ることにより、同窓生一人ひとりがそれぞれの思い出の師を偲ぶ契機とし、その方々から授けて頂いた薫陶がこれからの社会形成に生かされていくことを切に望むものである。

あだ名紳士録

あだ名には、その教師の悪口の意を含んだものもあるが、生徒は必ずしも悪口の気持ちで口にしたのではなく、むしろ愛着をこめて呼んでいたのである。ご本人には不愉快に思われる点もあろうが、生徒の親愛の情を示すものとしてご勘弁を願いたい。なお、必ずしもあだ名というのではなく、愛称と言った方が良いものも含める。

三輪 三吉 (国・修) 三輪かんサ (国漢の三輪)	樋口 留司 (書) 紙ラッパ	小川 参二 (工) すだれ
吉山京治郎 (修・物化・長) ふるや、古狸	飛田 広 (博) ほとんど、とんだサン	浜 稲雄 (数) 幽霊
吉川 巖 (英) アメリカ乞食	久保 利 (国) 馬サ	大石太七郎 (数) 芋でこ
両角 新治 (国) もろこんサ	伊藤 富治 (教) こんぼこ大将	宮坂 仁吾 (体) 仁吾さ
鵜飼 順弥 (歴) うけえサマ	吉江幸一郎 (数) まむし	吉沢 治作 (英) げえろ
小河 直忠 (剣) ためサ	矢崎 亀重 (剣) かめサ	羽生 三男 (国) 金歯、羽生亭金歯
樋口為之助 (英) 馬簾 (長髪がばさばさ)	加島 起巳 (教) のんのん (出身地茨城県の方言より)	西沢 一成 (柔) でぶ
菊池 久吉 (国) なあち (「すなわち」の口ぐせ)	西之原友方 (英) うまかた、にし	北村 光一 (英) げえろダッシュ
辻 敏秀 (体・唱・算) 猫	長坂明治郎 (英) 毒饅頭、どくまん、どくサ	吉岡克一郎 (数) えっぼん (いっぼんのなまり)
横山善四郎 (数) よこや	児玉兵一郎 (英) ジャック	荒木 善雄 (数) とっさ、おとっさま
山崎織治郎 (修・地・長) すね (「そうですね」の口ぐせ)	高垣 敬六 (英) 蛸	西沢 駿一 (教) はや助
山本 喜市 (体) ベッカー (きつつきの英語)	小沢 俊雄 (国) とんし (豚氏)	新村 幸治 (英) ナラシオン
佐々木 真 (英) ツイツイ	田中 行雄 (修・公) もくしゃ、満州	鶴川 千里 (体) パン鶴 (運動パンツを着用させようとしたため)
牛山 伝造 (博) でんき (さ)	寿時金次郎 (数) 蛸	細田 与 (社) とんぼ
佐藤孫次郎 (画・書) ボテ (ト)	柳沢 英夫 (国) 蛸	宮下 琢郎 (画) 絶壁、絶ちゃん
玉置 衡平 (英) ハイカラ	金子 悦雄 (国) 河馬	佐藤 忠義 (国) ミクロン
田中 熊象 (修・長) 味噌王	在明 尊与 (教) 五徳	牛山 秀樹 (歴) おおほり (大祝家)
三輪 玄蔵 (数) ゴリラ みわげんサ	松本 重義 (地・歴) 河豚	鮎沢 重行 (教) 熊サ
西岡 瑞穂 (画・書) キュービー、ドロー	久多田正教 (英) フォーチチュード、ヘップンド (いずれも英語の発音から)	田中紀元次 (理) 決戦ブー (就任式の挨拶で「決戦下の今日」と大声で)
中川 藤平 (柔) じゃんたい (「一体全体」の口ぐせ)	湯沢 博寛 (理) はつかんサ (名前 小柄で八貫目の意も)	矢沢 克 (社) ごつつァマ
窪田 宗雄 (英) フォックス	島口 信一 (画) とんぼ	宮沢 秀治 (数) 三角定規 (不勉強の生徒を大きな定規でたたく)
河西 健児 (国) けんじサ	佐藤 信一 (英) エンタツ (同名の漫才師に似ていた)	小池賢三郎 (国) 牛蒡
三沢 勝衛 (地) いすか (いすかの嘴)	伊藤 章作 (教) 廃兵	牛山 之雄 (国) ポチ
友成 友次 (英) ともサ	柳沢 英蔵 (英) ポチ	矢嶋 壽雄 (体) とっサ
松下 一栄 (物) ちゃめ、ぶつり	増沢 駿 (音) ますパン	牛山 正雄 (地) 豆電気、うしまさ
前田 伝造 (国) 馬サ	徳武 経義 (修・公) 空気であ	増沢 康正 (社) まつしヨ (「しまつしヨ」の口ぐせ)
樋口 信夫 (英) きんこん (就任式の挨拶「緊陣一番」から)	小林 尊志 (歴) おば、おばサン (「〜をば〜して」の口ぐせより)	百瀬 有郎 (社) まむし
豊田 才 (剣) 直角 (絶壁頭より)	大草 英雄 (国) 近衛さん	小平 恒彦 (社) つんた
片岡 厚 (体・教) そほう (就任式の挨拶「時に粗暴の言動あるかもしれないが……」から、後にごほう (そほうが変じ)	浜 克志 (教) 浜かつツァ	浜 惣治 (国) 歯刷子 (ハマソウジ)
	吉沢 俊一 (長) ブルドック	今井 玉寿 (数) チータ
	中山 政市 (数) チャンス (チャンスの神は前頭部に一握りの毛髪があるだけ)	平沢 武男 (社) がま
	高橋 俊示 (地) あんま	伊藤 邦男 (数) 花王石鹸
		大和 親夫 (化) キュービーさん
		中尾 祐次 (物) 黒ちん

上記あだ名紳士録は「清陵八十年史」より引用しました。したがってここに掲載されている先生方は昭和50年頃までに清陵高校に在職された方々であります。その後の先生方についてレポートなどがあれば、同窓会事務局までご一報下さい。

ウシマサ (牛山正雄先生)

教科 理科

昭和22年～昭和56年



牛正坂

67回生の私たちは、牛山先生が担任された最後のクラスだとか…。当時は生物を教えておられたが、研究室は“地研”であり、学友会の役員や、授業をさぼる人、女子生徒など種々雑多人が入り浸っていた。茫洋とした風貌、穏やかで柔らかな人柄、学問研究への情熱を育てるとい

う雰囲気故だったろうか、“ウシマサ”信奉者は今でも熱っぽく地研での議論や先生とのやりとりの思い出を語る。

激しいものを持つ人だと後日聞いたが、そんな気色は感じさせなかった。しかし、一線を越える者には厳しかった。図に乗って目の前で喫煙などした者は厳しく叱責された。人見知りをするほうだった私は、残念ながら地研の入り浸り組にはなれなかった。

先生は、本当に面倒見のいい方だった。私の兄が大学受験の時、一面識もない先輩に、ウシマサの紹介というだけで面倒を見てもらったと聞いた。諏訪湖一周マラソンで雨に濡れて途中脱落した私は、帰途、先生のお宅に寄って炬燵に潜り込み卵酒を頂いた。この類の経験をした人は数え切れないだろう。霧ヶ峰でのスキー合宿は、当時では得難い思い出となっている。

先生のあだ名がついた“牛正坂”は今はどうなっているだろうか。

高木蘭子 (67回) 記

嗚呼 蝦蟇大明神

昭和36年から、“ガマ”こと平沢武男先生が、我がクラスの担任かつ倫理一般社会の先生であった。あだ名の謂れは知らないが、偏見を持って恩師の尊顔を拝ぎ見れば、まさにそのもの。

社会科の授業で、黒板に大きく「則天去私」の四文字を書いて、なにやら哲学を説いたことを鮮明に覚えている。私を捨てたことまでは教えの通りであったが、その次の則天どころでない自分がふがない。

社会部の連中と米軍横田基地のデモに勝手に参加した時には、社会部の顧問をしていたガマに呼び出され、盛んに口から泡を吹かれた。校内の壁に小生意気な“声明”文を貼り出したり、学友会誌「清陵」に学校批判の原稿を寄せ、校長室に呼ばれガマから油を搾られた。しかし一度もお咎めはなかった。自由の気概に感謝。

最高機密を一つ。ガマは僕の一年生の時、中学生の家庭教師を、内緒で紹介して下さった。生まれて初めて手にしたバイト代が、広辞苑となっていまだに僕の手元にある。合掌。

今井安榮 (67回) 記



ちづ江奥様と一緒に

ガマ (平沢武男先生)

教科 社会

昭和30年～昭和40年

麗人酒造株式会社

諏訪市諏訪二一九―一二
電話 〇二六六(五)三二二(代)



諏訪浪漫麦酒

日本酒で培った技術と豊富な水資源から新たに琥珀色した雫ができあがりました。

その名は「諏訪浪漫ビール」

清酒醸造にも使われている霧ヶ峰高原からの伏流湧水と、諏訪名物である温泉を仕込水として、厳選された大麦麦芽とアロマホップのみで丁寧に醸造しました。味わい深くキレがあり、清酒同様口当たりよいビールです。

行方不明の熊サ

鮎沢先生と聞いてもパツと頭に浮かぶ人は少ないのではと思うが、“熊サ”と聞けば「あー、あの先生か」と思い出される人は多いのではないだろうか。

私は入学して伝統ある端艇部に入った。顧問の先生は牛山正雄先生と鮎沢先生のお二人であった。昭和36、37、38年の端艇部は、5月頃には中日本レガッタで愛知県猿投町、夏のインターハイはその年の開催地へ、9月には国体、と年3回の遠征のチャンスがあった。

私が2年生の時のインターハイは琵琶湖で開催され、我々も参加した。その時の引率の先生が鮎沢先生であった。諏訪から列車を乗り継いで琵琶湖の畔の天津市へ到着し、荷物をほどこし、早速会場へ前日練習に行こうとした時に、先生は「ワシャ、ちょっと用事があるで、大阪へ行くで、頑張つてやれや」と言い残して行ってしまった。

大会は予選、敗復共敗れ、2日後には帰ることになった。それにしても先生はどこへ行ってしまったのかと思いながら大津の駅で帰りの電車を待っていると、我々の乗る電車がホームへ入って来た。我々の前に停まった電車の窓を誰かが



熊サ (鮎沢重行先生)

教科 英語

「アーッ」と指さした。見ると、そこには熊サがチョッコリと坐っている。電車に乗り込んで「先生、どこへ行ってたでえー？」と聞くと、「おう、甲子園へ高校野球を見に行ってた」との返事。一同「エーッ」と言ったまま、開いた口が塞がらなかった。

端艇部のことを思い出す度に、先生のホノボノとしたお姿が目につく。

中島貫司 (67回) 記

昭和19年～昭和42年

馬方通る

西之原友方先生は、担任していたクラスの生徒に放課後残っているよう言いつけてあった。放課後生徒たちは待っていたが、先生はやって来ない。そこで級長が迎えに行ったところ、「今日はもう帰ってもよろしい」とのことであった。生徒たちは怒り出し、窓から声を揃えて「ニシのバカ」と怒鳴った。それを聞いた西之原先生、カンカンに怒って教室に飛び込んで来て、「今、ニシ、ニシと言ったのは誰だ。東條さん(時の首相)をトウと言うか」とお説教を始めた。そこへ急に夕立が降ってきた。先生はお説教は中断して黒板に「It rains cats and dogs.」と書いて、「どしゃぶりのことを英語ではこう言う」と講義を始めた。

西之原先生のあだ名は「うまかた」。名前の友方をもじったものであり、陰ではニシ、ニシとも言った。一句あり、「夕立や馬方通る西の原」

『清陵八十年史』より



うまかた (西之原友方先生)

教科 英語

昭和3年～昭和42年

寡黙の師

美術の授業……それは英語や数学の予習、復習の時間でもあり、息抜きの時間、昼食の時間でもあった。“絶ちゃん”は、授業では画用紙は渡しても、その出来映えについては多くは語らなかった。

時代は東京オリンピック開催を前にし、高度成長に入った時。大量生産・販売のなかで工業製品のデザインや広告宣伝のデザインが注目され、美術を目指す学生たちにも私学の美大のデザイン科への進学率が高まっていた。

株式会社白鳳ビルディング

本社／新宿区新宿5-17-11 TEL 03(3200)2011

第2白鳳ビル／豊島区東池袋4-10-2

第3白鳳ビル／新宿区新宿6-8-8

第4白鳳ビル／渋谷区代々木2-23-1

第5白鳳ビル／中央区日本橋室町1-13-5

第6白鳳ビル／千代田区西神田2-2-13

第7白鳳ビル／文京区白山5-33-11

第8白鳳ビル／新宿区百人町3-9-6

ハクホー八王子パーキング／ハクホー浦和パーキング

ハクホー柏パーキング

諏訪大社前観光ドライブイン

西茅野ゴルフ練習場

株式会社白鳳ビルディング代表取締役社長

財団法人日本血液協会理事長

新宿区新宿5-17-11 TEL 03(3208)6270

厚生中央医院

新宿区百人町3-16-6 TEL 03(3369)0880

東北大学航空工力精密同窓会名誉会長

東北大学機械系同窓会名誉会長

社団法人国民懇話会前理事長

医学博士 工学博士

宮坂五一郎 (36回)

絶ちゃん(宮下琢郎先生)

教科 美術

昭和18年～昭和44年



宮下先生自画像(昭和2年)

卒業して数年してだろうか、絶ちゃんの個展が河西画廊であった。美術の研究室で描いていた風景画に交じって、石を描いた作品が印象的であった。我々のような生徒よりは、路傍の石の方が美を語り合える相手ではなかったのかと、作品を鑑賞しながら清陵時代の絶ちゃんの姿を回想した。

放課後、石膏デッサンをしていると、いつの間にか後ろに立ち、アドバイスをしてくれた絶ちゃん……。ムツとした表情であったが、常に優しく微笑んでいた絶ちゃん。37年前の恩師の顔を描いてみた。なかなか絶ちゃんの柔和な顔が描けなかった。

絶ちゃんの心境が理解できる歳に自分もなった。

熊沢祥吉(67回)記

絶ちゃんは、東京芸大の油絵卒であり、当時の美大の入試のための鉛筆デッサンや色彩構成等、テクニク中心のアドバイスをすることには抵抗があったと思う。純粹に油や彫刻を目指す学生が減少し、絶ちゃんにとっては淋しい時代であったのではなかろうか。私も絶ちゃんとは芸術論を戦わすことは一度もなかった。



宮下先生肖像画(熊沢画)

とっサの長椅子

皆様は、矢嶋壽雄先生のことを“とっサ”と呼んでいたと思います。私はバスケットボールを通じ、大変お世話になりました。野球をやるつもりでいた私は、野球部がなかったので、仕方なくバスケットボールを始めることになり、全くの素人から指導をして頂きました。「勝って奢らず、負けて言い訳せず、胸を張って明日に闘志を燃やす誇りを持ち、短時間全力集中主義を部風とし、激しい練習を通じ人間形成をすること」をモットーとし、鍛えて頂きました。

卒業して37年経った今でも、苦しかった合宿や少人数での練習、悔しかった中南信大会準優勝のことが昨日のことに思い出されます。そしてそこには、いつも腕と足を組んで長椅子に坐った先生がおられました。何も言わなくても、そこにいだけで緊張感がありました。沈黙することで何をすべきか、自分たちで考えさせ、自主性や積極性を引き出し、相互の信頼感や責任感等を養うことができたと考えます。

たった3年間ではありましたが、バスケットボールを通じて、精神的にも肉体的にも鍛えられたことが、現在でも大きな自信であり、財産であります。短い文章の中では、先生のことを十分に言い表すことができませんが、バスケットボールを通じて先生と触れ合った多くの先輩や後輩は、私と同じ思いで、どんなにか感謝しているのでしょうか。

芳沢勝利(67回)記

とっサ(矢嶋壽雄先生)
教科 体育昭和22年～昭和23年
昭和27年～昭和55年
昭和58年～平成2年

品質一筋

造り手である私たち自身が舌鼓を打って飲む酒。
大切な家族に安心してすすめられる酒。

親しい友人に胸を張って贈ることができる酒。

私たちはお客様にそんな真澄をお届けしたいと願っています。

だから、品種や産地が分からない米は買いません。

製造工場のデイトールには徹底して



こだわります。

一〇〇%自社製造を守りぬき、純米酒比率の向上にも力を注ぎました。

創業から三三八年目となる今年も、私たちは

お客様のお顔を自らの家族や友人の顔に重ね合わせながら

美酒を醸し続けます。

信州が生んだ天下の銘酒

真澄
マスミ

清酒真澄醸造元

宮坂醸造株式会社

〒392-8686 長野県諏訪市元町1-16

TEL.0266-52-6161 FAX.0266-53-4477 www.masumi-sake.com/



あふれる『母校愛』 に感動

同窓会長 宮 坂 久 臣

同窓生の皆さん、益々ご清栄のこととご拝察申し上げます。日頃、同窓会に特段のご理解とご支援をいただいておりますことにつきまして、心からお礼申し上げます。

さて、現在、同窓会には諏訪・岡谷・茅野・下諏訪・富士見・原・上伊那・中信・北信、さらに東京・東海・関西の合わせて12の支部があります。各支部とも、年1回の総会のほか、ゴルフ大会や旅行を実施するなどして、それぞれに親睦を深め合っています。

私も日程をやり繰りして、できる限り各支部の総会に出席するよう努めていますが、この1年間、地元以外には北信と東京、関西におじゃまをしました。このうち、東京は出席者が約300名という盛況ぶり。関西は、家族同伴のアットホームな雰囲気の中で福袋も出るという“商都”ならではの趣向を凝らした総会でした。

そうした“遠方”の支部総会で、最も印象に残ったことは、皆さんの強い『母校愛』であります。「同窓生だから当然だろう」と言ってしまうかもしれませんが、大先輩から若い方まで、清水ヶ丘の学舎での思い出を大切にしながら、誰もが『文武両道』を掲げた母校の発展を熱望している……。この『母校愛』あふれる皆さんの姿に、私は深く感動して帰ってまいりました。

ところで、各支部総会とも若い方や女性の同窓生の出席が目立つようになり、誠に嬉しく思っております。最近、母校の生徒も40%が女子ということで、これに伴って同窓会のほうも女性会員が大幅に増えてきております。同窓会全体の総会を、より多彩でにぎやかな会に盛り上げるために、女性会員の積極的なご参加をお願いする次第です。

その同窓会総会ですが、毎回、当番幹事の学年の皆さんが準備にあたってくれていますが、今年は初めて上諏訪を離れて、岡谷で開催することになりました。さらに、これも初めて土曜日の午後に日程を組みましたので、翌日曜日にかけて、学級や学年ごとの交流に頑張ってくださいことも良いのではないかと思います。

7月1日、夏場の総会。冷えたビール、こくのある地酒、芳醇なワイン。喉の調子を最高にして『日本一長い校歌』を歌いましょう。

朱曦八荒を照らすとき、芙蓉峰頭一点の
理想の花の咲かむまで

*

同窓会事務局長の小口祐一先生が、ご都合により退任されました。小口先生には長い間たいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

なお、後任に武居浩明先生(56回)が就任しましたので、報告させていただきます。



エントロピー

学校長 窪 田 孝 美

昨今の閉塞感に満ちた社会の状況や、殺伐とした事件があると、必ず評論家が登場し解説をするが、もう一つ納得がでないのは、エントロピーへの配慮がないことではないかと思う。

熱力学の第二法則を“エントロピーの法則”と言い、自然科学の法則の中でただ一つの絶対真理である。かのアインシュタインも「すべての科学にとって、エントロピーは基礎である」と言っている。細かな条件や数式を省くと、この法則は「物質とエネルギーは使用可能なものから不可能のものへ、秩序化されたものから無秩序な状態に、一つの方向のみに変化する」と言える。

そして、公害とはエントロピーの極値でもある。また、日常生活の「情報量」もエントロピーであることが分かっている。この情報量の増大が、人類を滅亡させる大きな要因と考えている学者もいるという。

社会現象もエントロピーの法則から逃れることは不可能であるという。そして、人間にできるのは、変化する速度を遅くすることしかできないものであるという。我々はエントロピーの増加を抑え、次の世代へ持続的社會を保障していく義務があると考えます。

そのためには、大量生産、大量消費の生活を改め、校歌の「夫れ質実を経にして、やよ勤儉を緯にして」の生活をしなければならぬが、豊かで便利な生活に慣れてしまった現代人にそれができるだろうか。またIT革命の進行などで、情報量が減少することも期待できない。

これからの若者に次のような、技術の開発を託すること、流行に惑わされない人間を育成することが大切であると思う。

①社会的コストを考慮した新エネルギーの開発・発見

- ・太陽光発電、地熱や風力発電
- ・核分裂、核融合
- ・燃料電池
- ・メタンハイドレード掘削技術

②マックスウェルの悪魔の開発

海水を水と塩に分離できる膜が開発されているが、空気中から炭酸ガスだけを分離できる膜の開発等

③宇宙開発(地球を閉じられた系からの開放)

地球外から資源・エネルギー源を地球へ搬送

④情報リテラシーと環境教育

情報に振り回されない判断能力の育成、価値観の転換

*

駄文を弄しました。諸先輩からご指導頂ければ幸いです。

平成11年度 定期総会の記

諏訪清陵高校同窓会の平成11年度定期総会は、6月27日(日)、昨年と同じ諏訪シティホテル成田屋にて午後1時より開催されました。

この定期総会開催にあたり、ここ数年来、総会への出席者が減少しているとのことで、同窓会役員から、何とか出席者数200人を超えるよう努力してほしい旨の要請があり、私共当番幹事66回生としては大変な圧力を感じざるを得ませんでした。数度にわたる打合せの中で、チケット販売の方法で……ということになり、各支部・各学年にご迷惑を承知でご無理をお願い致しました。紙上をお借りしまして改めてお詫びかたがた、厚く御礼申し上げる次第です。

チケットは、当日までに200枚以上のご協力を頂きましたが、総会当日は朝から雨模様。昼近くには雨脚も強くなり、「これでは出足も鈍く、どんな入り具合となるか。200用意した椅子は果たして埋まってくれるだろうか」。時計を見ながら、そんな不安が脳裡を横切ること頻りでした。不安を打ち消すためか、景気付けの意味からか、手の空いている66回生が入口、玄関下で太鼓を打ち鳴らしての「金色の民」。そのご利益があつたか(？)、ボツボツの出足ながら、総会開会時には170人近い受付けを数え、ホッと胸を撫で下ろした一



挨拶をする宮坂同窓会会長



スライドを使つての講演会

幕でした。

総会の司会は松尾邦昭君(66回)。開会の挨拶は寺島敏郎副会長・東京支部長(50回)。物故会員を偲んで黙祷。宮坂久臣会長(49回)、窪田孝美学校長の挨拶に続いて細川昭富士見支部長(46回)を議長に選任して議事に入る。①平成10年度会務・会計決算、②クラブ活動同窓会後援会会計決算、③平成11年度事業計画・予算案を承認。各支部長の紹介の後、次年度当番幹事67回生の挨拶。最後に淵上良子副会長(56回)の閉会のことばで総会を閉じる。

総会に続いて記念講演。長田敏行君(東京大学大学院理学系研究科教授・同付属植物園園長 66回)が「植物から見た地球——植物バイオテクノロジーと地球環境」と題してスライドを使つての1時間半の講演。何年ぶりかで生物の授業を受ける錯覚に学生時代を思い出したひととき。小石川の植物園には是非1度行ってみたいとなった。

雨のため出足が悪かったのでしょうか、総会開始後も徐々に出席者は増え、記念講演終了の頃には満席の状態。竹内勝海君(66回)の司会で始まった懇親会時には椅子を追加、総勢250人ほどの大宴会となりました。飲むほどにまた、酔うほどに話も弾み、大いに旧交を温め合ったひとときでした。最後は67回生の音頭で校歌、さらに66回生による「金色の民」、万歳によりお開きとなりました。

多くの皆さんのお陰で、当番幹事としての責任を果たすことができましたこと、心より感謝申し上げます。

水岸一洋(66回)記

おかげさまで
リニューアル1周年

政府登録国際観光旅館



代表取締役社長 山崎壯一(51回)
取締役社長室長 山崎濤子(56回)
代表取締役副社長 山崎俊一(80回)

〒392-0027 諏訪市湖岸通り3-3-10 TEL0266-58-8000

MISUZU INDUSTRIES CORPORATION



事業内容

情報機器部品製造
精密金型設計・製作
電子情報機器部品
設計・製造
医療機器開発

クリーン&ファインテクノロジー



株式会社 **ミスズ工業**

代表取締役会長 山崎 壯一(51回生)

代表取締役社長 山崎 泰三(83回生)

本社・工場 諏訪市四賀3090 TEL0266(52)6611(代)

箕輪工場 上伊那郡箕輪町中箕輪1536 TEL0265(79)8866(代)

ホームページ <http://www.kmisuzu.co.jp>

平成 11 年度 会 務 報 告

平成 11 年

4.6 諏訪清陵高等学校第105回生入学式

午前10:00 母校小体育館

新入生280名（男子177名、女子103名）

4.21 道志社先輩慰霊法要

午前11:00 地藏寺

5.5 原支部総会

午後2:00 原村中央公民館

5.24 財団諏訪清陵会・同窓会会計監査

午後4:00 清陵会館

5.29 財団諏訪清陵会理事会

午前11:30 母校応接室

同窓会常任幹事会

午後1:30 清陵会館

幹事会

午後3:30 清陵会館大広間

平成11年度定期総会提出議案審議

懇親会

午後4:30 清陵会館大広間

6.1 会報25号発行・発送

松尾委員長ほか66回生編集

6.27 平成11年度諏訪清陵高校同窓会定期総会

午後1:00 シティホテル成田屋

平成10年度会務・一般特別会計決算報告および平成11年度事業計画・会計予算承認

記念講演 長田敏行（66回）「植物から見た地球——植物バイオテクノロジーと地球環境」

懇親会

午後4:30 成田屋

7.5 総会および会報編集担当幹事（66回）反省会

午後6:30 あるが

8.8 上伊那支部総会

午後3:00 辰野パークホテル

9.3 総会および会報編集当番幹事引継会（66→67回生）

午後6:30 マリオ

10.15 東京支部（東京清陵会）総会

午後6:00 アルカディア市ヶ谷

11.6 松本支部総会

午後4:00 信州会館

11.17 諏訪支部総会

午後6:00 シティホテル成田屋

平成12年

1.13 会報編集委員会

午後1:00 清陵会館

1.30 関西支部総会

午前11:00 阪神グリーンルーム

2.5 東海支部総会

午後4:30 ホテルアソシア名古屋ターミナル

2.25 北信（長野）支部総会

午後6:00 山王共済会館

2.26 茅野支部総会

午後3:30 岡島ロイヤル会館

3.8 諏訪清陵高等学校第103回生卒業式

午前10:00 母校体育館

卒業生290名（男子164名、女子126名）

3.9 富士見支部総会

午後6:30 油屋旅館

3.22 岡谷支部総会

午後6:30 ホテル岡谷

3.23 下諏訪支部総会

午後6:00 ホテルぎん月

3.24 母校転退職職員送別会

午後6:00 浜の湯

諏訪清陵高校OB・OG「諏訪湖一周マラソン」のご案内

本年も恒例の湖周マラソンを下記により、母校の諸君に加えてもらい実施致します。多数の皆さんの参加と応援を期待しご案内とします。

1. 日 時 10月25日(水) 女子8時40分、男子9時
2. コース (予定) スタート・ゴール 湖畔石彫公園 約18Km
3. 受 付 湖畔石彫公園のスタート・ゴール地点 午前7時30分よりゼッケン受取り後スタート地点へ。終了後懇親会。
4. 参加費 3000円
5. その他 健康診断もお忘れなく。雨天の場合受付時に判断。

清陵湖周マラソンOB会

会 長 井上彦次 (42回) 事務局長 牛山 孝 (59回)

問合先 原 英充 (65回 Tel 0266-58-3547)

会 計 唐沢千明 (76回)

平成8年よりコースが変わりました。諏訪湖周辺のジョギングロードを走る平坦な走りやすいコースです（牛マサ坂を通ります）。

株式会社 DAVA ダイア精機製作所

本社工場 岡谷市小井川7978

TEL (0266) 27-7733(代)

営業所 東京都杉並区善福寺3-10-2

TEL (03) 3399-0685(代)

精密機器製造
工作機械用ツール

取締役会長 小 口 成 人 (44回)

常務取締役 小 口 裕 司 (79回)

取 締 役 武 田 吉 清 (61回)

人生の節目

誕生・七五三・入学・卒業・成人
就職・結婚・・・そして長寿の祝と
人生は大きなドラマ。

めぐりくる節目の時を
家族や親しい方々と祝う
その節目の日が記念日。

日本の美しい四季
正月七日の人日
三月三日の上巳
五月五日の端午
七月七日の七夕
九月九日の重陽の
五節句や盆・暮等の
年中行事。
常日頃の神への感謝と
祈りを込めて集う

「おめでとう」の日
新しい生命が芽を出す日。
そして故人を偲ぶ
遺徳を祭るご法宴

マリオは
人生の節目
記念日を祝う
ライフイベント
ブラザを
めざします



マリオ

0266-28-8740
長野県岡谷市長地900



平成 11 年度 同窓会一般会計決算報告 (案)

平成 11 年 4 月 1 日 ~ 平成 12 年 3 月 31 日
収入総額 16,240,414 円
支出総額 10,270,438 円
差引残高 5,969,976 円 (平成 12 年度へ繰越)

平成 12 年度 同窓会一般会計予算 (案)

収入総額 13,936,976 円
支出総額 13,936,976 円
差引残高 0 円

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減(▼)額	備 考
前年度繰越金	4,751,807	4,751,807	0	
入 会 金	1,400,000	1,400,000	0	5,000×280人
終 身 会 費	6,600,000	6,295,360	▼304,640	20,000×280人 未納会員70人分
基本財産収入	94,000	77,729	▼ 16,271	大口定期預金利息
繰 入 金	3,000,000	3,000,000	0	クラブ活動後援会発 足時貸付金返還
雑 収 入	265,000	715,518	450,518	普通預金利息、名簿、 CD等売上金、43回思山 会より寄付 (43万円)
合 計	16,110,807	16,240,414	129,607	

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減(▼)額	備 考
前年度繰越金	5,969,976	4,751,807	1,218,169	
入 会 金	1,430,000	1,400,000	30,000	5,000×286人
終 身 会 費	6,220,000	6,600,000	▼ 380,000	20,000×286人 未納会員50人分
基本財産収入	67,000	94,000	▼ 27,000	大口定期預金利息
繰 入 金	0	3,000,000	▼3,000,000	
雑 収 入	250,000	265,000	▼ 15,000	普通預金利息、名 簿・CD等売上金
合 計	13,936,976	16,110,807	▼2,173,831	

支出の部

科 目	予算額	決算額	増減(▲)額	備 考
会 議 費	300,000	202,782	97,218	常任幹事会・幹事会他
総 会 費	400,000	313,655	86,345	定期総会費
旅 費	600,000	392,200	207,800	役員出張旅費・書記通勤費
人 件 費	720,000	285,000	435,000	書記給与
需 要 費	300,000	218,845	81,155	リース料、新聞代、消耗品他
役 務 費	450,000	202,621	247,379	電話料、郵便料、FAX料
慶 弔 費	950,000	912,830	37,170	支部総会祝儀、教職員饗 別、弔電他
記 念 品 費	220,000	203,000	17,000	卒業生記念品(印鑑)代
繰 出 金	4,350,000	4,300,735	49,265	会報会計(180万)、 勸清陵会(250万)、
基金繰入金	3,000,000	3,000,000	0	返還金を基金積立
備 品 費	250,000	238,770	11,230	パソコン更新費
雑 費	0	0	0	
予 備 費	4,570,807	0	4,570,807	
合 計	16,110,807	10,270,438	5,840,369	

支出の部

科 目	予算額	前年度予算額	増減(▲)額	備 考
会 議 費	300,000	300,000	0	常任幹事会・幹事会他
総 会 費	400,000	400,000	0	定期総会費
旅 費	650,000	600,000	▲ 50,000	役員出張旅費・書記通勤費
人 件 費	500,000	720,000	220,000	書記給与
需 要 費	300,000	300,000	0	リース料、新聞代、消耗品他
備 品 費	300,000	250,000	▲ 50,000	インターネット・LCV配 線工事費、コピー器他
役 務 費	500,000	450,000	▲ 50,000	電話料、郵便料、FAX料
慶 弔 費	1,000,000	950,000	▲ 50,000	支部総会祝儀、教職員饗 別、弔電他
記 念 品 費	220,000	220,000	0	卒業生記念品(印鑑)代
繰 出 金	4,400,000	4,350,000	▲ 49,265	会報会計(180万)、 清陵会(250万)、 会館維持(10万)
基金繰入金	0	3,000,000	▲3,000,000	
雑 費	0	0	0	
予 備 費	5,566,976	4,570,807	▲ 796,169	
合 計	13,936,976	16,110,807	2,173,831	

諏訪清陵高校同窓会基本財産目録

基本財産 63,000,000 円

大口定期預金 諏訪信用金庫 43,000,000 円
八十二銀行 20,000,000 円

平成 11 年度 清陵会館維持会計決算報告
(平成 11 年 4 月 1 日 ~ 12 年 3 月 31 日)
収 入 額 496,675 円 (前年度繰越金)
支 出 額 0 円
差引残高 496,675 円 (次年度へ繰り越し)

平成 11 年度 同窓会報特別会計決算報告
(平成 11 年 4 月 1 日 ~ 12 年 3 月 31 日)
収 入 額 2,612,025 円
(一般会計よりの繰入金、広告収入等)
支 出 額 2,362,143 円
(会報 25 号 16,500 部印刷費、郵送料等)
収支残高 249,882 円 (次年度へ繰り越し)

代表取締役
新村良雄 (四九回)
新村隆 (八五回)
下諏訪町四ツ角
☎ (〇二六六) 二七—八五〇五

諏訪清陵
不二屋もなか

昭和シェル石油特約店
株式会社 細川商店
諏訪市諏訪二丁目10番4号 ☎ 本店 (0120) 210-613

代表取締役会長 細川 昭 八 (51回)
代表取締役社長 細川 洋 一 (84回)
専務取締役 宮坂 友比古 (67回)
常務取締役 細川 浩 二 (86回)

諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会会計報告

P T A、同窓会、学友会の3者により結成されたクラブ活動後援会も、発足以来3年が経過しました。後輩生徒達はこの援助資金のおかげで、のびのびと文武両道の鍛錬に励んでおります(活動の主だった成果については「学校だより」頁をご覧ください)。

同窓会の後援会には、昨11年度に新しく294名の方々が入会し会費を納入して下さい、お陰さまで当初目標の1,500万円をオーバーすることが出来ました(昨年中に2度目の会費を納入下さった方も16名おられます)。今のところ援助資金は事足りておりますが、いつ野球部が甲子園へ行くかも分かりませんし(その日の早いことを願わない同窓生は1人もいないと思います)、他のクラブもそれぞれめざましい活躍をしておりますので、資金がこれで充分ということはありません。まだご入会されていない方々には、昨年に引き続き郵便振替用紙を同封しましたので、どうか振るってご加入下さいますようお願いいたします(もし、既にお振り込み下さったのに郵便振込用紙が同封されておりましたら、事務局の間違いですので、ご面倒でもご一報下さい)。

昨年度中にご送金下さった方々のお名前を次頁に掲載いたします。これを領収証代わりとして頂きたいと思っております(なお入会者名簿は会報24、25号に続いて3回目です)。

諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会会計決算書(案)

収入総額 10,742,278 円
支出総額 7,018,420 円
差引残額 3,723,858 円(平成12年度へ繰越)

収入の部			支出の部			(単位:円)
科 目	予算額	予算額	科 目	予算額	予算額	
繰越金	1,692,134	前年度より	搬出金	2,580,000	学校後援会へ	
会 費	3,040,570	述べ310人	基金繰出	1,400,000	定期預金で	
繰入金	6,000,000	基金取崩し	返却金	3,000,000	発足時借入金	
雑収入	9,574	預金利息	需要費	38,420	振替用紙印刷代	
合 計	10,742,278		合 計	7,018,420		

諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会基金(定期預金)

種 類	預入先	金 額	利率	期 間	満期日
期日指定定期 単利	諏訪信用金庫	3,000,000	0.100%	364日	平成13.3.30
〃	〃	1,400,000	〃	〃	〃
〃	〃	650,000	〃	〃	〃
	合 計	5,050,000			

平成11年度 クラブ活動後援会(学校)会計収支決算

収入総額 10,598,720 円
支出総額 8,520,915 円
差引残額 2,077,805 円

収入の部				(単位:円)
科 目	予算額	収入済額	比較増減	
繰越金	1,093,434	1,093,434	0	
県等補助金	965,500	1,564,230	598,730	
雑収入	1,066	1,056	△10	
繰入金	7,940,000	*7,940,000	0	
合 計	10,000,000	10,598,720	598,720	

*PTA 424万円 同窓会 258万円 学友会 112万円

支出の部				(単位:円)
科 目	予算額	支出済額	比較増減	
生徒遠征費	7,200,000	6,347,298	852,702	
大会参加費	1,200,000	1,041,100	158,900	
登録料	800,000	723,380	76,620	
施設使用料	500,000	405,840	94,160	
事務費	30,000	3,297	26,703	
予備費	270,000	0	270,000	
合 計	10,000,000	8,520,915	1,479,085	

文系クラブ 3 運動クラブ 15 生徒述べ数 1,105名
郡内大会 9 県内大会 75 県外大会 19 合計 103大会

クラブ後援会学年別会員数 H. 12. 3.現在 会員数1,662名

回生	人数	回生	人数	回生	人数	回生	人数	回生	人数	回生	人数
18	1	35	21	49	58	65	38	79	11	93	11
19	1	36	19	50	95	66	28	80	12	94	7
21	1	37	18	51	32	67	22	81	9	95	18
23	1	38	18	52	48	68	19	82	9	96	14
25	4	39	22	55		69	32	83	15	97	20
26	1	40	24	56	53	70	26	84	21	98	16
27	1	41	22	57	40	71	21	85	7	99	17
28	7	42	41	58	50	72	21	86	12	100	29
29	3	43	11	59	49	73	11	87	11	101	16
30	8	44	33	60	52	74	13	88	13	102	19
31	11	45	25	61	35	75	20	89	6		
32	8	46	39	62	22	76	13	90	7		
33	12	47	72	63	26	77	14	91	10		
34	7	48	27	64	38	78	9	92	9		

デジタルイメージング機器のCHINON

目に見える形、色、さらには感性までもデジタル情報に置き換える高い技術。ISO-9002認定という世界に認められた確かな品質。21世紀に向けて急速に進む高度情報化、マルチメディア化に、私たちは高精度なデジタルイメージング機器で応えています。



——感性を情報に。

チノン株式会社

〒391-0293長野県茅野市中大塩23-11
TEL. 0266-82-2000 FAX. 0266-82-2010 <http://www.chinon.co.jp/>

クラブ後援会 平成11年度入会者

敬称省略させていただきました。

25回	柳沢 英夫	中山 典村	小川 明人	五味 秀夫	土橋 英一	97回	小尾 麻美
26回	小口 幸夫	山田 稔	荻原 能男	長林 栄一	武居 厚郎		笠原 由啓
30回	中島 和市	桑沢 昭二	関 泰	春日 敏	高橋 肇		上島 清美
	矢崎 和男	小平 博之	土橋平太郎	栗田 勝	藤森 政明		高藤 哲也
31回	笠原 満雄	48回 今井 千浩	中島 倂二	小泉 健二	平井 美彦		深井 康志
32回	春日 徹郎	49回 植松 芳彦	中田 智章	杉浦 信剛	村木 克巳		山田 剛
33回	有賀 芳郎	川窪 舜助	宮沢 勝三	新村 恩優	小松 一俊	98回	五味 知子
	大和 春穂	小池 要人	宮下 敬三	林 博	矢島 修		関 裕子
	上條 正広	増澤 國泰	守矢 裕将	宮沢 昌隆	向山 茂雄	99回	牛山 絵美
	小平 保	50回 赤羽 英夫	飯田 準次	横井 忠雄	白鳥 保美		小河源 卓
34回	伊藤 善七	有賀 愛士	金山 成芳	今井 厚	小松 耕吉		野口 真也
	矢島 敏晴	伊藤 順藏	小池 宏幸	渡辺 洋	進士 文徳	100回	五味 泰史
35回	加藤 幸男	伊藤 国弘	両角 満次	小松 敏行	武井 博敏		根本 和彦
	坂本 栄	柿澤 重喜	山田 泰司	長田 久人	谷口 衛	101回	山崎 智央
36回	浜 澄三	河西 良治	岩佐 時雄	原 昭治	内藤 正三		大久保 瑞恵
37回	今井 信雄	片岡 一郎	小澤 吉郎	細川 忠光	伊藤 隆吾		河井 玲子
	中山 八一	川窪 公吉	木下 博介	石原 昇	小野 健敏		小池 亜衣
	藤森 要吉	窪田 正雄	高橋 勇秀	笠原 美貴	村松 千尋		竹村 玲子
38回	尾沢 政人	五味 立自	飯田 力也	坂本 敏夫	田中 敬志		堤 彩子
	宮澤 美夫	坂本 健彦	小口 剛	永田 正敏	松崎 任宏		當重 貴大
39回	伊東 助幸	関 悦受	春日 清弘	橋爪 博一	小口 慶一郎		前田 治郎
	瀧口 啓自	武井 秀夫	小林 実夫	林 道良	小林 活人		森元 正樹
	橋詰 実	浜 広匡	五味 隆	上原 隆利	小林 康志		山岡 翠
	林 裕人	林 家資	清水 真幸	笠島 信明	長田 誠	102回	山本 陽介
40回	田中 宗和	林 祐三	丸山 茂夫	茅野 勝彦	平林 和之		伊藤 俊介
	吉田 久實	平井 庸一	阿部 知可	比田井 昌英	伊藤 孝太郎		伊藤 浩
42回	黒河内 三郎	舟岡 正男	小口 隆	福島 英雄	小口 圭一		井上 展孝
	小林 保	三輪 尚文	小林 喜久男	増沢 和人	土屋 治彦		牛山 健作
	小松 眞一	村上 賢次	五味 弘行	宮坂 幸芳	吉沢 達也		大槻 正史
	畑 政歳	本倉 正一郎	寺澤 且次	宮部 直幸	溝口 英治		小口 裕生
	溝口 勝弘	両角 俊人	永田 郷雄	矢沢 博	宮坂 玲子		小口 理恵
	宮沢 俊朗	矢崎 靖	名取 啓介	岩垂 進	増沢 栄一		笠島 明浩
43回	近藤 武	柳澤 惟一	二木 隆	小口 博一	百瀬 あけみ		加藤 智明
	根津 晴之	山口 豊	両角 武人	小澤 英雄	五味 暁憲		熊谷 純
44回	小口 正雄	八幡 正好	小河源 章博	小沢 洋一	松澤 孝典		後藤 望
	川村 博俊	吉澤 正一	北原 敏宏	久保田 利広	宮坂 周吾		小林 克義
	五味 誠	伊藤 雄一	土橋 五郎	宮坂 誠	横井 克俊		小松 香苗
	五味 義明	稲垣 政之輔	小林 清文	植松 昌弘	笠原 弘章		五味 花子
	清水 明裕	堀内 昭八	降旗 誠太郎	佐藤 幸一	林 充彦		高木 政志
45回	小倉 裕	丸茂 真	守屋 進	田澤 秀夫	村上 陽一		高野 佳美
	小泉 善一	51回 鮎沢 次郎	石井 瑞人	中根 領	下島 卓弥		林 耕太郎
	藤田 靖夫	石井 末夫	塩澤 司壽男	林 博雄	宮下 正臣		丸茂 貴樹
	松岡 武文	金子 信也	柴田 誠一	山田 邦夫	青沼 弘明		丸山 みずえ
46回	有井 秀太	米沢 朝宗	中村 誠一	勝野 勇	小平 浩史		
	関 忠雄	55回 小松 堯	宮坂 弘久	小池 健治	上原 建次郎		
	松沢 賢	56回 鶴飼 盈夫	倉本 實		下島 和文		
47回	久保龍太郎				橋爪 祥宏		
					安 冬彦		
					吉江		

294名

最先端技術にはロマンがある

理想を追究したツイストノイズカットトランス

ノイズ障害防止の切札で、近未来に先駆けるトランスです



高度情報化社会の Achilles 踵 = 不要電磁波・ノイズ障害の防止に尽くす

株式
会社

電研精機研究所

代表取締役 矢ヶ崎昭彦 (47回)

本社・工場 / 〒203-0042 東京都東久留米市八幡町1-4-21

TEL: (0424) 73-3745 (代) FAX: (0424) 74-0613

大阪営業所 / 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-5 マッセ四ツ橋ビル5号館

TEL: (06) 538-1118 FAX: (06) 538-2777

URL = <http://www.denkenseiki.co.jp>

支部活動報告

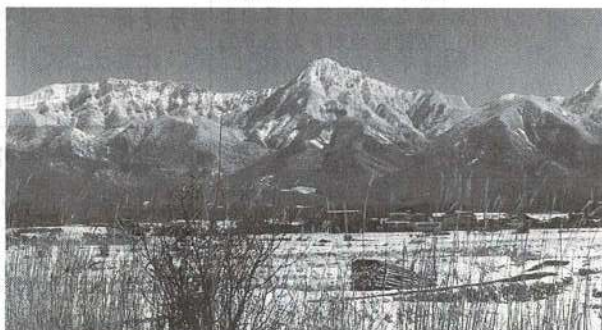
	富士見支部 (岳麓会・263名)	原支部 (117名・村外在 住の特別会員123 名)	茅野支部	諏訪支部 (1,860名)	下諏訪支部	岡谷支部
支部会員名・連絡先	支部長 細川 昭 (50回) 副支部長 五味昭二 (46回) 小林 亙 (50回) 事務局 古屋真一 (77回) 〒399-0211 富士見町富士見 8270 ☎0266-62-6394 (細川 昭)	支部長 松沢宏昭 (57回) 常任幹事 小林千展 (79回) 〒391-0105 原村8119-1 ☎0266-79-4615 (小林千展)	支部長 矢崎斉男 (51回) 副支部長 永澤俊是 (52回) 事務局長 牛山 俊 (61回) 〒391-0213 茅野市豊平1784 ☎0266-72-6553 (牛山 俊)	支部長 宮坂祐次 (51回) 副支部長 飯田節夫 (58回) 関 敦子 (67回) 会計 牛山 孝 (59回) 事務局長 茅野嘉利 (57回) 〒392-0023 諏訪市小和田南 10-9 ☎0266-52-6839 (宮坂祐次)	支部長 三井章義 (51回) 副支部長 有賀公雄 (47回) 酒井敏夫 (56回) 小口 剛 (59回) 会計 野澤彰治郎(61回) 〒393-0015 下諏訪町3534 ☎0266-27-8003 (三井章義)	支部長 山岡正邦 (48回) 副支部長 山岡利行 (49回) 鮎沢茂登 (59回) 宮坂照彦 (60回) 顧問 山岡利平 (28回) 林 憲一 (28回) 宮坂久臣 (49回) 〒394-8611 岡谷市郷田2-1-8 ☎0266-23-4567 (諏訪信用金庫本 部内 守矢 真)
平成11年度支部総会内容	12年3月9日 油屋旅館 22名 ◇事業・決算報告 ◇会員の確認	11年5月6日 原村中央公民館 17名 ◇事業・決算報告 ◇事業・予算計画	12年2月26日 岡島ロイヤル会館 67名 ◇事業報告 ◇講演「棚畑の国 宝について」講師 /武居幸重 (57回)	11年11月17日 諏訪シティホテル 成田屋 163名 ◇事業・会計報告 ◇講演会「今、伝 えておきたいこと がある」講師/三 浦 久 (67回)	12年3月23日 ぎん月 40名 ◇事業報告 ◇講演会「新しい エネルギーについ て」講師/浜 和 彦 (56回) ◇定期総会の案内 ◇会員近況報告	12年3月22日 ホテル岡谷 105名 ◇事業・会計報告 ◇役員改選
平成11年度活動内容	◇役員会 ◇清陵富士見会 (東京方面)との交 流(11年5月19日・ ニューふじみ) ◇逝去会員の弔問 (1名)	◇役員会 ◇支部八ヶ岳登山 (11年9月11日) ◇村広報誌を村外 会員に配布 ◇逝去会員の弔問 (4名)	◇役員会	◇野球部甲子園県 大会応援 ◇組織強化(役員 会)	◇役員会	◇役員会
平成12年度活動計画	◇定期総会(13年3 月予定) ◇清陵富士見会と の交流 ◇研修視察(会員の 声を聞いて)	◇定期総会(12年6 月予定) ◇講演会 ◇名簿の整理 ◇支部八ヶ岳登山 (12年9月9日予定)	◇定期総会 ◇組織の強化 ◇講演会	◇定期総会(12年 11月中旬・諏訪シ ティホテル成田屋 予定) ◇講演会	◇役員会(13年2月 予定) ◇定期総会(13年3 月予定)	◇定期総会

上伊那支部 (289名)	松本支部 (342名)	北信支部 (277名)	東海支部 (145名)	東京支部 (東京清陵会・ 3,797名)	関西支部 (296名)
支部長 矢島 昭 (46回) 副支部長 石川 進 (52回) 常任幹事 木見尻康彦 (49回) 伊藤隆一 (58回) 林 靖 (62回) 勅使河原明英 (66回) 橋本実樹 (83回) 事務局 加島範久 (70回) 〒399-0426 辰野町宮木4038 ☎0266-41-0664 (矢島 昭)	支部長 守矢武久 (56回) 常任幹事 林 秀剛 (58回) 朝倉周一 (59回) 藤森邦秀 (65回) 会計監査 千代 務 (58回) 〒390-0827 松本市出川3-5-28 ☎0263-26-1039 (守矢武久)	支部長 茅野 實 (52回) 副支部長 戸田正明 (60回) 瀬木 潔 (62回) 〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2 ☎026-235-7447 (県庁体育課内 守屋正造)	支部長 小山良治 (42回) 副支部長 竹村 弘 (44回) 武井久良 (59回) 平林国雄 (60回) 事務局代理・会計 小松久夫 (59回) 顧問 山田 晶 (40回) 藤森耕介 (40回) 飯島宗一 (41回) 錦見高弘 (42回) 〒486-0838 春日井市弥生町 1-116-403 ☎0568-82-0938 (小松久夫)	支部長 寺島敏郎 (50回) 副支部長 林 尚孝 (52回) 淵上良子 (56回) 事務局長 藤森宏一 (63回) 事務局次長 小野寺勇 (58回) 祖父江宏三 (64回) 金子充宏 (65回) 会計幹事 河合三彦 (66回) 〒120-0005 足立区綾瀬2-31-7 ☎03-5680-7633 (株)小野包装気付 東京清陵会事務局)	支部長 河西計介 (42回) 副支部長 小倉 裕 (45回・ 事務局長兼務) 小池俊二 (49回) 藤森千弘 (50回) 中山 亮 (50回) 酒井嘉也 (51回) 杉村 健 (51回) 今井文人 (52回) 監事 小林秀春 (47回) 幹事代表 熊井巻夫 (58回) 〒666-0129 川西市緑台7-3-15 ☎0727-93-8668 (吉澤啓介)
11年8月8日 たつのパークホテル 50名 ◇事業・決算報告 ◇事業・予算計画 ◇役員改選 ◇講演「消化器内 視鏡による治療」 講師/松崎 廉 (52 回)	11年11月6日 信州会館 12名 ◇事業・決算報告 ◇講演「プリンタ アートの話」講師/ 藤森英和 (66回)	12年2月25日 山王共済会館 76名 ◇事業・会計報告	12年2月5日 ホテルアソシア名 古屋ターミナル 33名 ◇事業・会計報告 ◇講演「超情報化 社会の環境倫理」 講師/内藤 昌 (51 回)	11年10月15日 アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 269名 ◇事業・会計報告 ◇ビデオ放映「宮川 攻学会文化人鼎談」 ◇現役大学生(女 子学生)を初めて 招待(15名出席)	12年1月30日 阪神グリーンルーム 80名 ◇事業・会計報告 ◇講演「文化財の保 存・修復にたずさ わって」講師/増沢 文武 (63回・元興 寺文化財研究所保 存科学センター長)
◇役員会 ◇支部会報発行(11 年3月)	◇会員名簿の整備		◇総会欠席者の 「近況のお知らせ」 (通信文)を全会員 に配布	◇「東京清陵会だ より」第10号発行 関東1都6県にお住ま いで東京清陵会に未登録 の方は事務局までご連絡 下さい。「東京清陵 会だより」第11号およ び総会通知を送りし ます。年会費600円。 ◇第5回女性の集い	◇役員会 ◇第3回ゴルフ会 (11年1月30日) ◇関西支部会報第 2号発行
◇定期総会(12年4 月22日・たつのパ ークホテル・講演 「森鷗外と中村不 折」講師/赤羽貞 雄・35回)	◇定期総会(12年 10月下旬の土曜 日・信州会館予 定) ◇名簿の整備 ◇逝去会員への支 部旗の貸出し	◇定期総会	◇定期総会(13年2 月第1土曜日予定)	◇第34回定期総会 (12年10月20日アルカ ディア市ヶ谷予定 当番 67回 サブ68回) ◇「東京清陵会だ より」第11号発行 ◇親睦ゴルフ大会 ◇第6回女性の集い	◇第4回定期総会(13 年1月28日予定) ◇歩こう部会(12 年3月11日・奈良の 遺跡を訪ねる) ◇関西支部会報第 3号発行

学 年 会 短 信

(☆は定例および既に行われた活動、★は今後に予定される活動)

回	名 称	活 動	備 考
34	山紫会	★平成12年10月か11月に例会の予定	全員への通知はできないので、出席可能な人は9月中旬までに当番の北沢敏郎か矢崎孟伯まで連絡を。その人達へ改めて通知する。(幹事/矢島敏晴)
36		★平成12年6月頃に慰霊祭開催(法光寺・かめよし) ☆平成12年4月に同級生文集発行	物故者慰霊祭後「かめよし」で同級会の予定。これが最後かと思われるのでできるだけ出席されたい。(幹事/窪田十寸穂)
37		☆随時有志による同級会開催	平成10年9月18日下諏訪「かめや」での同級会で、学年の集まりは最後とし、有志での集まりは可、葬儀にはできるだけ弔辞をと決定。今後は平成11年の呼びかけを参考にするので、通知の届かない人が出るが悪しからず。(幹事/土橋道久)
38		☆平成11年6月27日 学年会開催 ★平成12年秋口に学年会を開きたい	前回開催の学年会は、80歳を越して身体不如意・病気療養中などで、出席者11名と寂しいものだった。秋口に泊まりがけで学年会を開きたいが如何か。(幹事/小林克巳)
39		☆平成12年4月18日 学年会開催(ぬのはん) ★平成13年秋に学年会の予定(当番/岡谷)	前回開催の学年会は前々回より4名増の20名が出席、遠方からの参加も増加し、昼の開催は好評だった。次々回の開催地を東京との提案あり。多数が傘寿を無事に迎えご同慶、米寿まで頑張ろう。(幹事/土橋徹三)
40		特になし	(幹事/石井 巖)
41		特になし	(幹事/矢島千晴)
42		★平成12年10月か11月に学年会の予定(母校)	学校を見学したり校長先生との懇談などを考えている。諏訪地方の者だけでなく遠方の人にもぜひ出席して皆で喜寿を祝いたい。(幹事/菊池貞衛)
43	思山会	☆平成12年3月学年会開催 ☆平成12年5月19日東京支部会開催(車屋)	学年会全体の会合・会報発行は、先細りしないうちに中止することを決議し、会費残高43万円を同窓会に寄付。(幹事/石原俊夫)
45		☆平成7年11月5日 学年会開催(諏訪湖インあるが) ☆平成10年5月2日 学年会開催(グランドホテル滝の湯) ☆平成12年2月5日 在京者学年会開催(日山)	平成7年は百周年記念祭の後に40名の参加、平成10年は長野オリンピックを偲びながら御柱祭に合わせて34名の参加を得て開催する。本年の在京者学年会には30名が参加。(幹事/小松一弘)
47	清志会	☆「清志会だより」発行	毎年、会費納入の生存者140名(238名中物故者53名、消息不明者8名)に名簿等を含む「清志会だより」を送付。本年3月、終身会費納入者117名134万円。(幹事/伊東敬一郎)
48		☆平成12年3月23日 第8回清陵白樺会開催(東京エミール)	毎年3月に学年会「清陵白樺会」を開催している。本年出席者は45名。多くの出席を。(幹事/溝口 勉)
49	一八会	☆平成12年4月16日 例会開催(緑水荘) ☆平成12年1月18日 東京一八会開催	母校に植樹した辛夷を見てから懇親会。東京一八会は毎年四ッ谷で開催。(幹事/小口貴弘)



ハッケ岳(撮影 矢崎馬雄 48回)


ひかり味噌株式会社

林 善八郎(58回) 小平 廉(58回) 林 博優(64回) 林 善博(81回)

少年の頃の質素な食事に、おいしい味噌汁があった。
お袋の温もりがあった。故郷の味を伝えたい。
贈る人の心の温かさを伝えたい。

大寒仕込み天然味噌「産直^{みやび} 雅」

500g×6●お届け価格 ¥3,670

●申し込み方法/ひかり味噌株式会社「産直の係り」まで

①ハガキ/〒393-0084 長野県諏訪郡下諏訪町栄町5238

②TEL.0266-28-5188/FAX.0266-27-8224

●お支払い方法/同封の振替用紙でお支払い下さい。

回	名 称	活 動	備 考
50	互励会	特になし	(幹事/宮坂亮一)
51	五一会	☆平成12年3月8日～14日 オーストラリア西海岸への旅行実施	グアム、ハワイ、クアラルンプールについて4回目の海外旅行。本年は夫婦同伴で28名が参加。(幹事/遠藤智義)
52 55	双樹会	★平成12年6月30日 学年会の予定(18:00 場所未定)	毎年、同窓会の定期総会の前日に学年会を開催している。多数参加を。(幹事/田中正利・三井光之)
56		☆平成12年5月27日 学年会開催(ぬのはん)	12年ぶりに近況欄付き名簿作成中。(幹事/神山幸雄)
58		★平成12年7月1日 学年会の予定(18:00 山王閣)	毎年、同窓会の定期総会後に学年会を開催。宿泊可。(幹事/笠原忠夫)
59		★平成13年6月 ドイツのバーンベルクへ旅行の予定 ☆例会を偶数月の14日に開催	(幹事/牛山 孝)
60	睦和会	☆平成12年5月23日～28日 中国旅行実施 ☆例会を毎月6日 18:30より諏訪市大手町「零石」で開催	中国へは「万里長城で校歌を歌おう」を合言葉に夫婦同伴(原則)で40名が参加。学年会総会は3年ごとに開催。(幹事/笠原文武)
61		☆平成11年12月5日 学年会開催(成田屋) ☆ゴルフコンペを毎年春秋に開催	平成11年の学年会は忘年会を兼ねて50名が出席。今後も随時開催したいと考えている。(幹事/土橋 勉)
63		特になし	(幹事/松木義文)
64		特になし	(幹事/小松修治)
65		特になし	(幹事/藤森輝男)
67	麓七会	★平成12年7月1日 学年会の予定(18:30 マリオ)	同窓会定期総会の幹事の慰労を兼ねて。一生一度の定期総会当番として大成功を期す。(幹事/朝比奈一正)
68		★平成12年7月1日 学年会の予定(18:30 マリオ)	定期総会終了後です、是非多数参加を(会費5,000円)。本年度総会は我々がサブ幹事です。来年度の成功と参考のためにも多数の同年生のお手伝いを期待します。(幹事/伊藤八郎)
69	無垢の会	★平成12年7月1日 学年会の予定(詳細は追って)	2年後の同窓会定期総会も成功するよう、総会当番への協力を期待します。(幹事/矢沢 博)
73		☆平成11年7月18日 学年会開催(ぬのはん) ☆平成11年11月14日 記念植樹(母校)	詳細は次頁「盛夏郷愁」参照。(幹事/森千章)
78		特になし	(幹事/足立孝幸)
80		☆例会を毎年1月2日 18:00より諏訪市「零石」で開催	例会へ出席できる方は松崎まで。(幹事/松崎 寛)
92			平成11年秋に東京清陵会へ10余名が参加。(幹事/笠原健一)
94		特になし	(幹事/藤森賢也)

今回新しい試みとして急遽編集委員会で作成しお送りしたアンケートにお答え下さったものを掲載しました。説明が足らなかったために「特になし」という回答が多くなり、上記の表のようだったら書くことがあったのにと、幹事の方のご理解ご意向と違った形になったかとも思われ、その点お詫び申し上げます。来年もこの欄を設けたいと思いますので、よろしくお願いします。

処方せん調剤 漢方薬
有限会社 二葉薬局

井 上 彦 次 (42回)
浜 正 一 (70回)
井 上 優 (72回)
井 上 幸 彦 (84回)

〒392-0026 諏訪市大手1-3-2
TEL 0266-52-1242
FAX 0266-52-3460

技術・夢・《三協精機》

世界第一のオルゴールメーカー《三協精機》。
その最先端技術が、夢を形にした。

時代を越えて甦る“人間の音”が
技術の粋による“心の音”が
感動と安らぎの世界へ誘います。

Sankyo
語り高い音の作品———オルフェウス
ORPHEUS



オルフェウス
801弁ディスクオルゴール—ORPHEUS—
Traditional Style 801[トラディショナル・タイプ]
Modern Style[モダン・タイプ]

ファインメカニズム & インテリジェンス
三協精機
株式会社三協精機製作所

本社下諏訪工場 〒393-8511 長野県諏訪郡下諏訪町5329
TEL:0266-27-3111(代) FAX:0266-28-5833
東京本社 〒105-8633 東京都港区新橋1-17-2
TEL:03-3502-3211(代) FAX:03-3502-6228

支 部
だより

御小屋山に響いた清陵校歌

原支部事務局長 小林千展 (79回)

「総会だけではつまらない」「原支部で何か独自のイベントをしよう」そんな発想のもと、費用も安く手軽に参加できる行事として八ヶ岳（阿弥陀岳）登山を計画しました。初めての試みであったので、参加者の把握も行わず、当日朝、参集したメンバーで登ろうという、あくまでもラフな計画でした。

9月11日土曜日。集合場所の舟山十字路に集まったのは、松沢会長以下60歳代3名、40歳代2名。それでも東京から帰省かたがた参加頂いた懐かしい顔もあり、早朝から心温まる思いでのスタートでした。

この日は小雨まじりのあいにくの天気。ご老体の方(?)もおおいでになるから、行ける所まで行こうと、それでも山頂を目指して軽い気持ちで出発しました。途中、若い頃の活躍など青春の思い出話に花を咲かせながら、きのこや木の実などの秋の味覚もおみやげにとハイキング程度のスローペース。

御小屋を過ぎ、汗びっしょりになりながら、不動清水の水場にたどり着いた一行は、八ヶ岳の清冽な清水で割ったウィスキーで「乾杯!」。これが「旨い!」つつい「おかわり!」。……気づいた時には、皆さん既に宴会モードに突入していました。

そんな折も折、水場に現れた登山者が同窓生と分かり、さては火に油を注いだような騒乱状態に。あちこちで懐かしい

思い出話に異様なほどの盛り上がりを見せていました。こうなると、もう目指す頂上は文字通り雲の上。うるしの葉のように真っ赤な顔の一行はここで早々下山を決意。御小屋山で昼食となりました。

東京清陵会作成の吹奏楽テープを伴奏に、6名が歌う母校の校歌が御小屋山に響き渡り、霧に乗って八ヶ岳の嶺々に届していきました。

第1回の原支部八ヶ岳登山。とうとう阿弥陀山頂は諦めましたが、これに懲りず今後も続けていきたいと思います。毎年9月の第2土曜日に計画するつもりですので、よろしかったら一緒に八ヶ岳で校歌を歌いましょう。

学年会
だより

盛夏郷愁

鳥羽研二 (73回・杏林大学医学部高齢医学主任教授)

開始1時間前というのにもう10人以上集まって、騒いでいる。ウェルカムドリンクは、普通は軽いシャンパンなどを飲むものだが、ビールの大ジョッキが所狭しと並び、その間に久しぶりの顔が加わると、大ジョッキの追加が繰り返される。「ぬのはん」ロビーがほとんど大混乱となった頃、30年ぶりの同窓会は始まった。

昨年、朝日新聞に勤める友人から同窓会の企画があった時、正直言ってあまり乗り気がしなかった。好きな人が勝手に集

まってやればいい。全体でやるのはじいさん臭いし、第一個人主義の典型のようなこの学年で30人も集まるかとの思いもあった。

年が明け、今にも降りそうな厚い雪雲のもと、北信のY高校の講堂で高校2年生を相手に「理科系進学楽しさ」と題して講演をした。医学や科学の面白いエッセンスを話し、老人医療における自分の失敗談を話し、高校生活の過ごし方など説教を垂れたが、もとより建て前半分の話である。



講演後、高校時代の担任で数学の教師であり、現在Y高校の校長先生を務めているS先生と、現在2年生の担任の先生方と遅くまで話した。教育にかける意気込み未だ衰えず、酔うほどに生徒一人ひとりへの愛着がほとばしっていた。高校2年生の時に、バイクの無免許運転で捕まり、母親と家庭裁判所まで行ってもらい、不良生活の区切りをつける潮時の頃、S先生から「学友会長をやってみないか」と言われたことを講演で生徒に話さなかったことをひどく後悔した。

帰京し、故旧の会を企画するのにためらいは消えていた。

110名をこえる集団である。記念撮影の最中に車で乗りつけ撮影に加わる豪の女もいて、撮影は仕切り直しが繰り返された。会の次第はあまり意味もない。なにしろ30年ぶりである。名札を見なければ半数以上は見知らぬ初老期も近い中年の男女である。名前を確認し、2分くらい顔を凝視すると、忽然と遠い記憶が甦ってくることも少なくないのが不思議であった。

高校の卒業式はヘルメットを被った全共闘のメンバーに「粉碎」された。メンバーはもちろんなんのおとがめもない、いい高校であったが、裏で先生方の苦労は並大抵ではなかったろう。首謀者のH君は早稲田大学の法学部に進学したことまでは知っていたが、その後の消息は今回明らかになった。

学年会 だより

鍾乳洞に校歌が響く

岩波祐治 (51回)

毎年1回行われる五一会の海外ゴルフツアーは、グアム、ハワイ、クアラルンプールと回を重ね、4年目の今年はオーストラリアのパスで8日間というプランが組まれた。旅の楽しさはなんといっても同行の仲間による。その点でもコンパ委員長でゴタをやっていた大物のいるこのツアーが盛り上がりがないわけがないのである。今回まですべて参加のリピーターも多い。

今年の旅行は世界一美しい街の一つといわれるオーストラリアのパスであった。街に1歩足を踏み入れた時、「ヨーロッパのオランダ、イギリスの小都市を思わせる清潔で美しい街」という印象を受けた。湖と見紛うゆったりとしたスワン川をはさみ、両岸に広がる街並をキングスパークの高台から俯瞰する景観はすばらしかった。初日の夕食の宴は、この高台にあるフレイザーズで開かれた。夜景もまた息を呑む美しさだった。

さて我々の旅では、誰もやったことのない記念行事を行うのが、楽しみの一つになっているのだが、今回は参加された奥方10数名が1列に並び、パス市街を背景に踊ったラインダンスが白眉ではないかと思う（もちろんちょっと脚を持ち上げた程度で、いささか物足りない向きもあったが……）。

もう一つ必ず実行されるのが「校歌斉唱」である。今回はインド洋と南極

なんと権力の中枢である東京地方検察局検事になっていた。会半ばその変身ぶりに驚いたことをH君に話していたところ、先生方の挨拶で卒業式の話が出た。するとH君は壇上に上がりマイクを持った。すわ、同窓会粉碎かと誰もが思った瞬間、彼は変節を述べ、30年前の非礼を詫びた。残念でもあったが、30年の年月を実感した。

皆、立場は変わっても、理想や感性は衰えていない。むしろ過激に研ぎ澄まされている者さえいる。私も自戒し、老人医療に青臭い理想を掲げて進もうと決意し、泥酔し、あたり構わず説教を垂れていたらしい。

翌日は雨も上がり、炎天に湖水が波静かであった。諏訪湖スタジアムで松商学園と事実上の決勝戦。2回まで観戦し、2-2で苦戦も予想されたが、あずさ号の時間で帰京（結局2-9で敗戦）。

母校は昨日清陵祭が終わり、静かな時間を刻んでいることだろう。

のうぜん花 母校に咲いて 夏休み (紀子)

追伸 11月14日、窪田校長先生ご出席のもと、母校北校舎西側へ卒業30周年を記念してハナミズキの苗木を植樹しました。紙面をお借りして同期生へご報告いたします。

海の出会う街オーガスタの北にあるジュエルケーブの地底で鍾乳石を眺めながら蜜声を張り上げて来た。ジュエルケーブの名のとおり、漆黒の暗闇の中に宝石のように輝く鍾乳石を見るのは初めてだった。どら声を聞いて鍾乳石もさぞびっくりしたであろう。

南極海といえば「南極海の氷の下に潜って採って来た」といわれる白い甲羅の蟹を食したのも初めての経験であった。その他パス近郊の観光地の一つピナクルズで地平線の彼方まで林立する奇岩を縫って走る四輪駆動車に揺られた経験も、またとない思い出である。もちろんゴルフ組は3回のプレーを楽しんで来た。

次の予定地はまだ決まっていないが、「来年はもっと参加が増えるぜ」という声が聞こえてくる。



学 校 だ よ り

4 月

第105回生の入学式が4月6日に行われました。新入生280名（内女子103名）を迎えて生徒総数856名で平成11年度がスタートしました。17日には恒例の新入生歓迎会が行われ、例年どおり談話会がありましたが、クラブ勧誘演説ばかり多いのはこの時期としてやむを得ないことではありますが、高校生活に対する厳しい助言等がもっと欲しい気もしました。新入生の中にも発言を求めて登壇した生徒のいたのは、さすが清陵と思わせました。昇降口を通り抜けたコモンスペースは、新入生にとってはいかにも高校らしい自由な雰囲気を感じさせる交流の場として人気があります。



春季南信高体連大会

多くのクラブが県大会出場権を得ましたが、上位に食い込んだものは、団体戦では蹴球部、羽球部男子と硬式庭球女子の2位、硬式庭球男子と柔道部、陸上部男子の400Mリレー（矢島・立石・小野・高橋）の3位等でした。新人戦で北信越大会まで行った1600Mリレー（高橋・立石・望月・土田）は文句なく1位でした。端艇部では男子舵手付フォア（三井・小泉・増山・宮坂・高林）と女子舵手付フォア（中山・松崎・津金・増沢・金沢）が1位と活躍しました。個人戦では、陸上男子の200M、400M、800M、1500M、女子の100Mハードル等で好成績を収め、柔道で望月（73kg）が2位、神坂（81kg）が3位でした。端艇で男子シングルスカル（下島）が2位、女子水泳の蜂谷が100Mおよび200Mバタフライで1位を勝ち取りました。

北信越大会

柔道個人戦で望月が3位、陸上男子で100Mの立石が5位、400Mの土田が5位、

高橋6位、400Mリレーが4位、1600Mリレーは堂々の1位でした。端艇の男子シングルスカル、男子舵手付フォア、女子舵手付フォアはいずれも1位を獲得しました。

インターハイ

陸上男子1600Mリレーは初の全国大会出場を果たし、準決勝でチームベスト記録（3'18"02）を出しましたが、残念ながら決勝進出には至りませんでした。端艇部も富山県での北信越大会では好成績を収めたものの、さすが全国のレベルは高く、入賞は果たせませんでした。

野球部

春の北信越南信大会で、準決勝で東海大三高を10-7、決勝で阿南高校を5-0で破り地区優勝しました。県大会においても順調に駒を進めましたが、準決勝で佐久長聖に5-1で破れ、3位決定戦でも残念ながら上田西高に10-6で4位に終わりました。甲子園を目指す夏の大会では、シードを獲得し地元諏訪湖スタジアムでの戦いで、まず南安曇農業高校を5-3で、続く3回戦では長野高校を13-0で下し、下諏訪町の諏訪陣太鼓から寄贈して頂いた真新しい太鼓を打ち鳴らして4回戦の対松商戦に進みました。2回に2点を先取されましたがその裏にすぐ取り返し、5回まで2-2の手に汗握る接戦でしたが、6回に1点、7回にはとうとう力尽きて6点を奪われ、野球部の夏は終わりました。熱心に応援に駆けつけて頂いた皆様、またTVに向かって声を張り上げて頂いた多くの皆様にお礼申し上げます。ご存知のように松商学園はそのまま勝ち進み、甲子園出場を果たしました。

文化系クラブ

文系クラブのインターハイともいえる「全国高等学校総合文化祭」の将棋部門に、県大会を勝ち抜いて参加した樋口理恵が、全国3位（女子79名参加）の栄冠に輝きました。高校に入ってから将棋を始め、それも放課後の部活動時の練習だけでここまで至った彼女の集中力は素晴らしいものだと思います。秋には松本での高校生英語ディベート県大会に本校イングリッシュクラブから2チームが参加し、「日本は夏時間を導入すべきである」というテーマのディベートで、Aチーム（松本聡子、渡辺太郎、矢島秀教）が準決勝で松本県ヶ丘高校を、決勝では上田高校を破って優勝しました。2年連続3回目の優勝です。

第49回清陵祭

7月17日～19日 昨今どうしてもパフォーマンス系が中心になりがちの中で、綴った文化祭展示を追及しようと、「綴レ」というな

ご子弟の免許取得には

（地元の方はスチューデントコースで
東京・関西方面の方は合宿教習で（最短18日））

長野県公安委員会指定

茅 野 自 動 車 学 校

茅野市宮川5299番地 ☎ 0266-72-4111

代表取締役 矢 崎 斉 男 (51回)



タケヤみそ

株式会社 竹 屋

本 社／諏訪市湖岸通り2-3-17 ☎(0266)52-4000
松本工場／松本市南松本2-16-22 ☎(0263)25-2552
ホームページ <http://www.sphere.ad.jp/takeya>

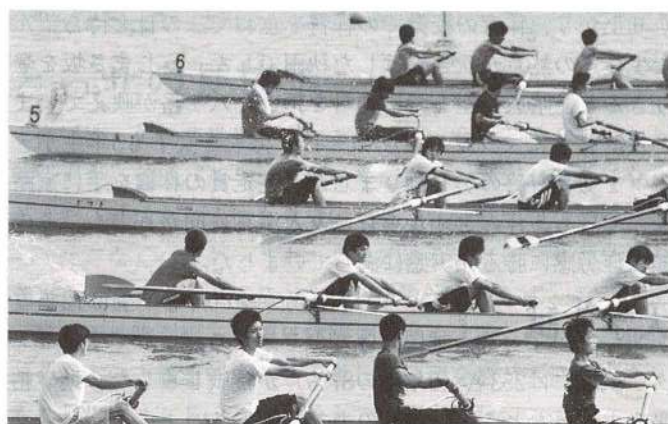
なかなか良いスローガンを掲げました。演劇、吹奏楽、古典ギター、室内コンチェルト、音楽、フォークソングと、どの部も熱心な練習の成果を発表しましたし、清陵祭のための寸劇や一般参加プログラムも楽しめるものでした。展示方法や部員の説明を工夫して、熱意で一般の観客を呼べるようなクラブの増えることを期待したいと思います。

校歌の全国放送

9月2日、テレビ信州の「ズームイン朝」で、百数十人の生徒有志が「日本一長い校歌」を歌って、日本テレビ系列で全国放送されました。オン・エアされたのは第一、第二校歌のそれぞれの初めと半ばそして終わりの辺でしたが、改めて日本一と言われて、生徒達の校歌に対する意識が高まれば幸いです。テレビ信州の取材は、信濃毎日新聞社の「雑学・日本一だよ、長野県」という本によるものでした。

端艇大会

マラソンとともに秋の二大行事の1つとして9月13日に下諏訪の漕艇場で行われました。それほど練習をしなかった漕ぎ手を含むクラスマッチですので、予選ではゴールに向かわないボートや、終わってもまっすぐ帰れないクラスがあり、例年ながらほほえましいものでしたが、準決勝、決勝ともなると息もぴったり合っ、岸からの応援にも熱が入りました。結果は、3年2部が男子、女子、混合の全種目1位をさらい、さすが3年生の意地を見せました。例年、昼近くなると風が出てきて中止を余儀なくされてきましたが、昨年は敗者復活戦を含む全レースを完了することが出来ました。こんな好天と無風に恵まれたことはかつてないと言うことです。



湖周マラソン

伝統のもう1つの行事は10月20日に行われました。前日の午後から降り始めた雨は夜になると雨足を強め、70%の降水確率予報で当然朝方まで残っていましたが、意外や意外、8時頃にはすっ



〔平成 12 年度入試結果〕

卒業年月	卒業生進路状況			就職		合計
	希望者	進学率	%	希望者	就職者	
平成 12 年 3 月	290	192	66.2	0	0	290
平成 11 年 3 月	271	170	62.7	1	1	272

私立大	12年度	11年度	私立大	12年度	11年度
文教大	4(2)	5(1)	日本女大	1(0)	5(4)
青学大	7(2)	12(6)	法政大	30(10)	23(13)
学習院大	0(0)	4(3)	明治大	28(18)	25(16)
国際基督教大	2(1)	0(0)	立教大	7(2)	7(4)
慶應大	9(3)	9(5)	早稲田大	23(13)	27(19)
国学院大	0(0)	1(1)	同志社大	9(5)	6(3)
上智大	6(2)	6(4)	立命館大	16(7)	19(8)
中央大	19(13)	17(7)	その他の私立大	143(51)	164(85)
専修大	9(1)	7(4)	私立大計	352(157)	373(205)
東京電機大	4(2)	9(1)	短大計	4(2)	11(3)
東京理大	15(12)	17(14)	各種専門学校	4(1)	9(1)
日本大	20(13)	10(7)	文部省所管外大	4(0)	2(1)

4/10 現在 *表中()は過年度生の内数

国公立大	12年度	11年度	国公立大	12年度	11年度
北海道大	5(3)	1(1)	金沢大	3(3)	5(3)
弘前大	0(0)	0(0)	山梨大	5(0)	6(0)
東北大	6(1)	10(3)	山梨医科大	0(0)	0(0)
茨城大	4(0)	4(1)	信州大	25(5)	13(4)
筑波大	3(0)	3(1)	静岡大	6(1)	4(2)
群馬大	2(1)	1(1)	名古屋大	2(1)	3(3)
埼玉大	4(3)	3(1)	三重大	0(0)	1(0)
千葉大	9(5)	6(2)	京大	4(2)	1(1)
東京大	1(0)	3(2)	大阪大	0(0)	1(0)
東京学芸大	1(1)	0(0)	奈良女大	4(2)	0(0)
東京農工大	1(1)	3(2)	広島大	3(2)	0(0)
東京工大	2(0)	1(0)	その他の国立大	15(6)	34(12)
東京医科歯科大	0(0)	0(0)	国立大計	122(43)	107(39)
東京芸大	0(0)	1(1)	高崎経大	0(0)	1(0)
お茶の水女大	0(0)	3(2)	東京都立大	4(3)	2(2)
一橋大	1(1)	0(0)	横浜市大	1(0)	1(1)
東京外語大	4(0)	0(0)	都留文大	3(0)	1(0)
横国大	5(2)	6(0)	他の公立大	8(4)	11(2)
新潟大	7(3)	4(1)	公立大計	16(7)	16(5)
上越教育大	0(0)	0(0)	国公立大計	138(50)	123(44)



刺身 仙岳 シバシバ
ふく料理
天ぷら

代表 小口達夫
小口慶一郎 (84回)
小野勝子 (87回)

諏訪市湖岸通り 5-17-6
TEL 0266 (58) 3515

整形外科 外科 産科 婦人科
立木 医院

立木 正 純 (38回)

(日本体育協会公認スポーツドクター)
(山本喜市先生顕彰碑保存会会長)
(全日本スキー連盟強化本部スポーツドクター)

立木 委 枝

〒392-0004 諏訪市諏訪1丁目22-24
電話 0266-52-1074

かり上がり、体育の授業での練習を重ねてこの日を待ち望んだ生徒達の熱意が吹き飛ばした秋雨でした。うしまさ坂に登りきると、晴天の空を背に初雪を頂いた八ヶ岳が映えていました。まさにマラソン日和の一日、男子も女子も3年生がテープを切り有終の美を飾りました。完走賞の林檎を手に家路につく者も、汗のタオルを首に友と温泉に向かう者も、その顔は疲労感に勝る充実感に満ちていました。

大学入試 いろいろな行事が終わり、3年生は12年度入試に向けてのラストスパートです。センター試験には253名（3年生の87%）が挑戦しました。進学結果の主だったところは前頁の表でご覧下さい。

卒業式 3月8日103回生290名が清陵を巣立って行きました。学校長は式辞でアウフヘーベンを求められ、淵上良子同窓会副会長は女性の社会参加を励ます祝辞を下しました。厳しい時代の中を生きて行く彼らの前途に幸多かれと祈ります。

(教頭 丸野範彦 記)

平成11年度末教職員人事移動

[転 出]

[転 入]

氏 名	転 出 先	教科	氏 名	前 任 校
河西 永一	諏訪二葉高校	国 語	矢口 憲生	松本美須ヶ丘高校
柳沢 弘蔵	犀峽高校	地歴公民	小沢 義彦	下諏訪向陽高校
名取 正康	定年退職	数 学	名取 正康	講師
岩崎 靖	総合教育センター	理 科	小野 朋士	講師
田中 照久	上越教育大内地留学	〃	木下 芳英	講師
笠原 浩	長野高校	保 体	小笠原健二	富士見高校
茶城 啓二	富士見高校	〃	小池 忠男	諏訪実業高校
土橋 邦彦	田川高校新規採用	〃		
安藤 貴幸	飯山照丘高校教頭	英 語	伊藤 満	岡谷南高校
小林 義昌	長野高校	〃	下井 一志	中野西高校
村上 正彦	木曽高校	〃	藤森 政明	岡谷東高校
		〃	武井 貞夫	講師
柳沢 勝男	県厚生課主任福祉監査員	事 務 長	萩原 光一	県広報文書課
百瀬 信二	岡谷工業高校	主 事	有川 清史	明科高校
須沢 靖江	諏訪二葉高校	学校司書	藤森 久子	諏訪実業高校

本年度の主な行事予定

- 4月5(水)第106回生入学式 15(土)新入生歓迎会
- 5月2(火)クラスマッチ 20(土)～23(火)1学期中間考査
31(水)クラスマッチ
- 6月7(水)芸術鑑賞 12(月)1・2年生学有林作業
28(水)～7/1(月)1学期末考査
- 7月15(土)～17(月)清陵祭 22(土)～8/20(日)夏休み
- 9月11(月)端艇大会 16(月)～20(水)2学期中間考査
- 10月5(木)クラスマッチ 25(水)湖周マラソン
- 11月7(火)～10(金)1・3年生2学期末考査、2年生研修旅行
20(月)～24(金)2年生2学期末考査
- 12月1(金)～22(金)保護者懇談会 7(木)8(金)3年生学年末考査
27(水)～1/8(月)年末年始休み
- 1月15(月)～17(水)1・2年生3学期中間考査
20(土)21(日)センター試験
- 2月7(水)～12(月)寒中休み 7(水)～9(金)スキー教室
- 3月5(月)～7(水)1・2年生学年末考査 8(木)卒業式
13(火)入学試験 23(金)終業式・離任式

平成12年度
出身中学別生徒数

中 学	1 年		2 年		3 年		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
岡西	11	4	13	5	10	5	34	14
岡北	10	9	10	12	16	5	36	26
岡南	2	6	5	2	8	2	15	10
岡東	17	10	8	13	9	10	34	33
下諏	9	9	22	5	9	4	40	18
下社	5	6	7	4	4	4	16	14
上諏	16	5	12	9	11	7	39	21
諏訪	8	9	10	6	2	9	20	24
諏西	7	7	13	5	10	11	30	23
諏南	4	14	14	4	20	5	38	23
永明	14	2	9	3	5	7	28	12
茅北	12	11	7	6	13	5	32	22
長峰	8	4	14	5	10	12	32	21
茅東	6	7	8	7	9	4	23	18
原	5	6	3	5	5	4	13	15
富南	1	5	2	3	1	5	4	13
富高	12	4	10	4	8	1	30	9
辰野	9	6	10	3	8	8	27	17
両小	1	1	1	0	2	0	4	1
県内	1	3	3	3	7	3	11	9

持人誌 林意

水晶時計

株式会社 マカホ

長野県茅野市宮川4900 ☎(0266)72-6111(代)

アメリカ工場……ロスアンゼルス バンコク工場……タイ国バンパイン工業団地

自動組立機の

マイクロエレクトニクス株式会社

長野県茅野市金澤5387-1 ☎(0266)72-6551(代)

特集Ⅱ 青春の思い出

「白い校舎よ さようなら」

——6月 二葉校舎取り壊し——

あの日・あの時 二葉ヶ丘の懐い出

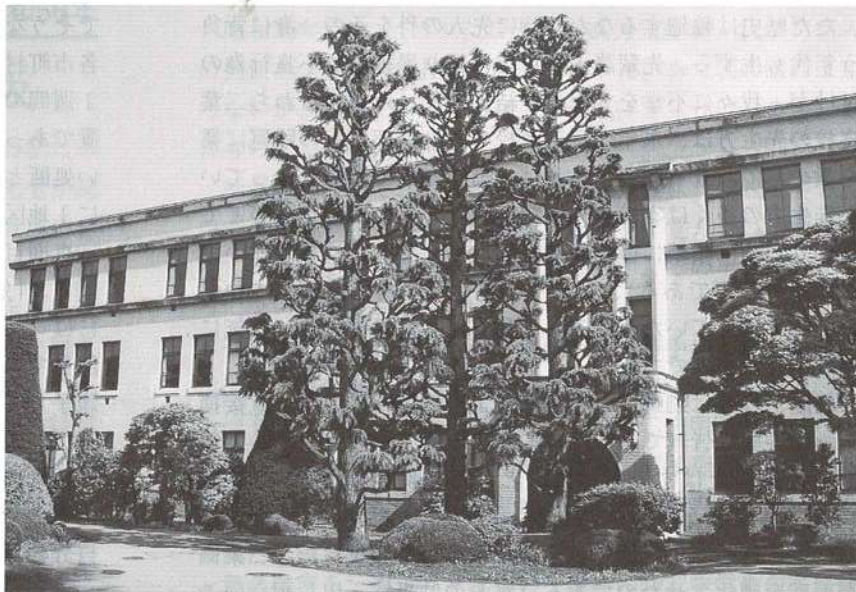
小池 博(67回)

上田に赴任して2年が過ぎようとする冬夜半、住宅の炬燵にずり込みTVを見ながらチビチビとやっていた小生のもとに、唐突にもK君からの電話。「やー小池ー、今度当番学年で同窓会報だすでなー、おめー何か書けやー」「何書くでー」「二葉の思い出かナンカでいいでさー。二葉に忍び込んで捕まった時のこと書きゃーいいでな。あの時一番悪いのはおめーだしな。みんなもホー言ってるでさー」《ガチャン》。

冗談ではない。誓って言うが、あの時のことは俺のみが悪かったのでは断じてない。本来的には参加者全員の連帯責任であるべきところを、卑劣なる策謀に翻弄され主犯格との冤罪に泣かされた事件である。我が誇り得るべき青春の時が汚辱にまみれ、夢寐にも忘れ得ぬ蹂躪と屈辱の時であった。ひとえに悪しき友等の保身のために捨身した、犠牲者にして殉教者の立場の自分ではなかったかと感じている。

思い起こせば35年ほど前、清陵祭前後のある夜のことである。清陵校史上に類を見ないと言われた我が劣等出来損ない6部は、天文台横の小屋に参集した。夜陰に紛れて収奪した果実類を皿盛りし、担任のM先生をご招待申し上げた。果物代と称して先生から金銭を奪取(悪辣なるルーム長O君の発案と記憶している)。『あ々博浪の槌とりて』を高吟し、高校生らしい一次会の終演をみた。

N君の片思いの相手に、今も妖美ではあるが、当時は清純美と形容されるにふさわしいI嬢がいた。彼女は二葉3年新体操部主将であった。彼がもたらした素敵な情報は、憧れの



撮影(ブロンズ像とも)/林通弘(58回)

乙女達が本夕より合宿で学校に泊まり込むとのことである。何時からか、何故にか酒気おびの6部一同であった。女子2人を除き、ほぼ全員が打って一丸となり、二葉高への表敬訪問と洒落込んだ。なかでも極めて積極的扇動的であったのが、茅野のG君と某美術教師の息子K君であった。

三々五々幾つかに分散し、各々が好む場所にて示威活動(正門石並べ、ブロンズ像の松葉添え及び着衣、体操部室窓



病院 田中クリニック

院長(外科・麻酔科)

田中 正利(第52回)

副院長(内科・小児科)

田中マキ子

諏訪市元町18番11号

☎(0266)52-2343

の覗き等々)を行なった。誓って言うが、我々にとり純粋な憧憬と親愛の情発露の想いのみであって、決して他意や悪気、卑猥な感情等はなかったことを信じて頂きたい。

ただ歴史は輪廻するなか、時に先人の科をその一身に背負う年代も生ずる。先輩諸子が百年に亘り累積した不良行為の付けが、我々に不幸をもたらす結果となった。すなわち二葉高校の先生方は、永年に亘る隣校のゴタ野郎どもの跋扈に業を煮やしており(考えてみれば、当時二葉で教鞭をとっていた先生方の多くは本校の先輩であった。したがって彼等とて若かりし頃は頻繁に憧憬の情を満足させていたに相違ないにもかかわらずである)、目にもの見せてやろうと手ぐすね引いて待ち構えていたところへ、我々がノコノコとノー天気な顔を出したわけである。

無論、我等は蜘蛛の子を散らすように逃げ散った。直接捕まった仲間は皆無であった。本来ならば“知らぬ顔の半兵衛”を決め込めたはずであった。ところが問題が生じていた。「着替え中を覗かれた」と勘違いした新体操部員の1人が、別室へ逃げ込む際に転倒し、足に怪我をしてしまった。二葉側が態度を硬化させたのである(怒るのは当然。申し訳ないことと思う)。その上にあろうことかのろまのK君とY君(共に上諏訪)が裸足で逃げた上、ご丁寧にも氏名明記の草履を置き忘れ、二葉の先生方に捕獲をされてしまったのである。

万事休す。一網打尽である。清陵側としても何らかの具体的な陳謝や処罰対応をせざるを得ないのは解る。ただ処罰方

法が憎い。ルーム長が学級代表として責任を問われることは当然。後は全員が丸坊主になり、先方に謝りに行き、チョンとなるのが妥当な幕引きではなかろうかと思う。しかるに何でそうなるのか、それほど罪の重くない小生を含め、学校は各市町村からの通学生1人ずつを人身御供と決め、家庭謹慎1週間の処罰を与えたのである。学校としても仕方のない処置であったことは理解できるものの、今もって納得のいかない処断と感じているのは小生だけではないはずである。何故に1地区1人だったのであろうか。疑問である。

真面目なM先生には帰宅途中に毎日欠かさずに家庭訪問を頂き、「勉強しているか。反省しているか」と諭された。母には「情けない」と詰られ、当時二葉1年で、しかも新体操部員であった妹には「私、もう学校に行けない」と泣かれ、親子して校長室で説諭され、「もー、参った、参った」であった。四面楚歌のなか、ただ唯一の救いは、今は亡き親父が一言「馬鹿者め」と言ったのみでニヤリと笑い、許してくれたことである。男の度量のかさを感じ、感謝すると共に、自分の息子が同じような事件を起こした時に真似をさせてもらったものである。

“二葉との懐い出”私の青春であった。故に今も富島健夫著『雪の記憶』を愛読しており、その本は今も職場の机中に生きている。映画名『故郷は緑なりき』を伊那まで追いかけて、涙して観たものである。ただ、懐かしの故郷は遠きにありて想うがよし、とも感じている伍十路の今である。

思い出のアルバム

高木智彦(67回)

交歓会で訪れて来る松本深志高校を歓迎する「蜻蛉健児南下」の垂れ幕を持って記念写真。蜻蛉は深志の校章だ。写真を撮った場所は、今はない旧学友会館の玄関口。写っているのは、当時、会館を梁山泊のようにして、たむろしていた新聞部・社会部・地歴部のメンバー。この5月に写真を見つけた時、深志高校との交歓会が盛んな頃を示す「思い出のアルバム」に登場させるには

ちょうどふさわしい写真…と思った。

当時、気のあったメンバー8人を中心に、八ヶ岳にちなんで「八岳会」というグループを結成し、反体制を標榜し、学校の中では、数年後に襲ってくる学園紛争の先端を走った“かぶきもの”として存在していた。実力・期末テストなどのたびに壁に張り出された学年の成績発表では、ものすごい成績優秀なはいなかった。よくて一部のメンバーが10番台あたりに顔を出していた程度で、大方は1点違うと順位が2〜3番狂う最後の方にかろうじて団子状態で名前が載るか、あるいは“ざりざりで落選”といったところにうろ

うろしていたメンバーが多かった。それでも今では“普通の社会地位的な基準”に沿っていえば、一流国立大学医学部教授、弁護士、私立大学学部長になっているメンバーもいる。ただ、既に亡くなった人もいて、人生の空しさ、さみしさを感じるこのごろだ。

と、センチメンタルに文を書いたところ、おかしなことに気がついた。ほぼ同じメンバーが同じ服装で二葉高校の正門前で撮った写真が出てきたのだ。結局、よく覚えていないのだが、この写真は卒業近くなった頃、軽佻浮薄な“かぶきもの”たちの卒業記念写真だったわけだ。



計 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(平成11年4月から平成12年3月までの間に、ご連絡のあった方々)

お名前	逝去年月日	回	名取	要	H.11.3.1	〃	宮坂	謙	H.6.11.30	〃	三浦	常夫	H.10.11.7	〃
古村 敏章	H.12.1.7	18回	前島 文男	H.11.9.9	〃	山岡 一雄	H.11.10.18	〃	牛山 嘉彦	H.11.10.29	〃	小川 佳志	H.11.5.27	〃
平林 忠知	H.9.1.24	〃	矢島今朝英	H.11.12.30	〃	山田今朝雄	H.11.10.29	〃	伊東 助幸	H.11.10.18	39回	濱 晴介	H.11.10.2	〃
宮澤 達雄	H.10.11.23	〃	池上 正治	H.10.12.7	32回	木村 光司	H.11.3.5	33回	小口 範男	H.11.6.17	〃	藤森 三平	H.11.7.16	48回
小口 多郎	H.11.12.	23回	向山 博人	H.11.7.18	〃	金子 光行	H.11.10.13	〃	上條 博茂	H.11.9.2	〃	鎌倉 光芳	H.10.11.24	49回
大島 武司	H.10.2.26	24回	矢崎 利恭	H.11.9.2	〃	伊藤 鈴雄	H.12.3.27	40回	下條 貞幸	H.10.6.23	〃	岩波 一信	H.11.1.29	52回
岩波 光風	H.12.1.20	25回	北沢 仁平	H.9.4.14	35回	中島 源造	H.11.5.31	〃	早出 好都	H.11.8.10	〃	小松 総光	H.11.3.31	〃
岩波 健彦	H.11.4.12	〃	浜 博臣	H.11.4.2	〃	林 栄	H.11.1.7	〃	河西 助雄	H.11.12.9	41回	五味 健吉	H.11.8.21	〃
伊藤 三郎	H.10.10.30	26回	宮坂 栄一	H.11.6.13	〃	伊藤 太郎	H.11.12.13	36回	片倉健二郎	H.12.3.17	42回	降幡 和利	H.11.5.19	〃
小口 幸夫	H.10.12.28	〃	大久保 昇	H.12.1.12	〃	大久保 昇	H.12.1.12	〃	鎌倉徳之丞	H.11.12.8	〃	矢島 重巻	H.11.7.22	〃
北沢 正	H.8.6.2	〃	大島 清美	H.11.5.18	〃	小川 惣平	H.11.7.14	〃	中澤 龍生	H.9.1.17	〃	小川 哲二	H.11.12.9	55回
吉川 誠	H.11.3.3	27回	早出 三郎	H.11.8.22	〃	林 正弘	H.12.1.29	〃	岩波 芳登	H.11.9.28	43回	矢島 信治	H.10.12.9	〃
赤羽 貞次	H.11.3.6	28回	藤森 英治	H.11.6.15	〃	大和 千春	H.11.11.	37回	牛山 明二	H.11.7.2	43回	守矢 泰明	H.11.3.10	60回
岩波 光明	H.8.3.17	〃	古原源之助	H.11.10.22	〃	井上竹四郎	H.12.1.29	38回	柄山 正司	H.11.7.2	〃	小口 達雄	H.11.11.11	63回
北原 軍治	H.9.12.11	〃	牛山 重秋	H.11.5.4	〃	平林 広計	H.11.8.22	〃	横内 敬一	H.11.7.2	〃	長林 栄一	H.11.3.10	〃
五味 益充	H.10.4.15	〃	平林 広計	H.11.8.22	〃				宮坂 芳弘	H.11.7.2	44回	内山 直三	H.8.	67回
原 実雄	H.9.11.29	〃							金子 国臣	H.11.12.17	45回	金子 憲幸	H.11.6.	69回
増沢源七郎	H.11.8.12	〃							田村 宏平	H.11.12.17	〃	藤森 徹	H.11.4.30	〃
唐木 高秀	H.10.10.29	29回							藤森 藤吾	H.8.7.8	〃	北原 理恵	H.11.2.5	97回
宮坂 順三	H.11.11.14	〃							有賀 薫	H.11.8.	46回			
浜 和克	H.10.9.28	30回							伊藤 富郎	H.10.2.23	〃			
宮坂 嵩	H.11.12.13	〃												
尾澤 達雄	H.9.5.16	31回												
北沢 市蔵	H.8.10.21	〃												

事務局だより

◆地蔵寺の境内にある「道志社之碑」が平成9年暮れに改修され、10年4月から道志社先輩の慰霊法要を行ってきました。昨年の法要の折、道志社の先輩は申すまでもないが、それ以外の物故同窓会員の慰霊もどうだろうかとの話が出ました。また昨年秋の彼岸に、地蔵寺の篠崎知足住職(59回)と檀徒総代をされている栗林松治(39回)、井上彦次(42回)、北原善次(43回)の3人の方とが、立派な位牌を奉納されました。金箔で唐破風の下に清陵の校章を配し、その下に3列で旧制諏中・道志社・清陵高校、次に2列で同窓生・教職員、その下中心に物故者諸精霊位と金文字で



しるされています。◆こうしたことから今年4月19日に、「道志社先輩ならびに物故同窓会員慰霊」ということで法要を行いました。道志社之碑に始まった法要ですが、道志社設立の精神はとりもおさず諏中清陵の根幹をなす自治であることを思えば、道志社先輩のお導きで全物故同窓会員の慰霊を執

り行うという意味で、今後も上記の趣意で慰霊法要をしていききたいと思っています。またこの位牌は、清陵同窓会に深い関わりがありますので、学年会などで物故同年生の法要を地蔵寺で行う場合、仏前に安置して読経をされるのがよろしいかと篠崎住職もおっしゃておられました。立派な位牌を奉納して下さいました。4人の方々に、改めて心より感謝申し上げます。

◆学会会短信を見ても気がつくのですが、同年会というのは会員の高齢化と不活発化は避けるべくありません。老齢と身体的理由から会合への参加も俟ならず、会の設定や通知なども幹事にとって大きな負担になってきます。淋しいことですがこれが現実です。そんな中で37回生や43回生山会の終息の方法はよい参考になるのではないのでしょうか。聞くところでは山会でも、積み立ててきた会費の処分に種々の意見があったそうですが、思い切ってほとんど全額を同窓会に寄付して下さいました。43回生の皆様のご厚意に応えられるよう、同窓会および在学後輩達に役立つような有効な用途を皆で考えていきたいと思います。

◆先年亡くなられた故北沢泉さん(44回)のご子息久夫氏より、遺志金として2万円のご寄付がありました。故人のご冥福を心よりお祈り致します。また43回生山会から、前記のように43万円の寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。

◆本年度中の寄贈図書

○小林彌六(52回)著「経済原論」

○同著「現代資本主義分析」

○同著「価値論と転形論争」

○同著「経済学批判の生成」

○同著「資本主義と社会主義」

○同著「新生日本への道」

○同著「流通形態論の研究」

○同著「新ユートピア経済学」

○同著「友愛主義宣言」

○同著「聖徳太子に学べ」

以上10冊、著者の兄小林正樹氏(47回)を通じての寄贈。

○宮沢勝(56回)著「私の医療と福祉論」

昨年度は都合で事務室を閉めている時が多く、恐らく図書ご寄贈の問い合わせにご返事出来ないことが間々あったかと思ひます。お許し下さい。

◆昨年来事務局の小口の個人的な事情で事務が停滞し、大変ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございませんでした。小口はこの3月で退任し、以前理科で生物を教えていた武居が4月から任に当たります。もっとも応急のこととて毎日出勤という訳にはゆきかねますが、ご寛恕下さい。今年度のメンバーは下記のとおりです。

・事務局長 武居浩明(56回)

・学校職員同窓会係

主任 今井保寿(62回 理科)

係 名取正康(61回 数学)

小池忠男(73回 体育)

北沢 潔(84回 社会)

藤沢幹彦(92回 数学)

守屋光浩(97回 社会)

・事務局

Tel 0266-58-0356 Fax 0266-57-0348

定期総会会場の変更のお知らせ

本年度の清陵高校同窓会定期総会は、永年お世話になっておりました諏訪シティホテル成田屋からジョイントプラザマリオに会場を変更いたしました。会場の雰囲気も変わったなかで、講演も従来のものとは違った趣向を凝らしたいと考えております。「革新の67回生」が精いっぱいおもてなし致しますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

諏訪清陵高等学校同窓会 平成12年度定期総会

日時 7月1日(土) 午後1時30分より

場所 ジョイントプラザマリオ(岡谷市長地)

懇親会会費 5,000円

(同窓会事務局・各支部・学年幹事が前売りチケット取扱い中、当日会場にても販売)

会場マイクロバス送迎致します

上諏訪駅西口 マイクロバス出発12時20分

下り	上り
特急11:30着	特急11:30着
普通12:03着	普通11:24着
特急12:08着	普通12:00着

岡谷駅南口 マイクロバス出発12時30分

上り
特急12:15着
普通12:21着



メッセージ

清陵の3年生だった1963年8月、北カリフォルニアの高校に留学した。その年の11月、ケネディーが暗殺された。ボブ・ディランの「風に吹かれて」を聞いたのはその頃のこただ。それ以来、ディランに魅せられ、何かと歌い続けてきた。60年代はその時代を生きた者にとって肯定的であれ、否定的であれ、ある種の感慨をもたずに振り返ることは難しい。60年代というのは時代の区分というよりは、意識のあり方だったと思うことがある。その意識とは、モノの豊かさだけでは人はハッピーにならないということであり、この命題は、現在から未来を照射している。歌をまじえながら、そんな思いを語ってみたい。

定期総会講演会講師/

三浦 久 (67回)

信州豊南短期大学教授

フォークシンガー

編集後記

本年度の会報編集および定期総会開催の当番幹事は67回生が担当しました。終戦っ子の私達の願いは21世紀が戦争のない平和な地球になることです。

7月1日は、1人でも多くの参加を当番学年幹事一同お待ちしております。お問い合わせは以下の役員まで。

朝比奈 一 正 ☎0266-23-0587	宮 坂 友比古 ☎0266-53-7108
熊 沢 祥 吉 ☎0266-28-8740	今 井 大 二 ☎0266-22-8423
中 島 貴 司 ☎0266-22-0598	小 松 陸 男 ☎0266-28-5898
関 敦 子 ☎0266-52-1325	河 西 源 之 ☎0266-27-8037
上 田 俊 弘 ☎0266-52-0171	

会報の原稿及広告募集

「支部だより」「学年だより」の原稿(学年会や支部の活動で、こんなことをしたというような報告)または清陵に関係のある随想や個人的なご意見・研究などをご提供下さい。

また、最近の経済情勢から、広告を掲載してくれる企業が少なくなりつつあります。会報の制作には、広告収入が欠かせませんのでどうか同窓会活動をご支援下さるお気持ちで、広告掲載をお願いします。また種々な面において実質的宣伝効果も大きいものと確信します。1段通しで4万円、半分のが2万円です。

地域づくりのパートナー

諏訪信用金庫

理 事 長 宮 坂 久 臣 (49回)

本店 長野県岡谷市郷田2丁目1番8号